

# 參考資料

関連データ集

消費者問題年表

## 関連データ集

### 資料1 消費者安全法の規定に基づき通知された消費者事故等

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
消費者事故等	11,414	14,941	15,308	16,298	14,461
生命身体事故等	2,435	3,992	4,914	5,635	5,471
重大事故等	1,487	1,500	1,351	1,658	1,849
重大事故等を除く生命身体事故等	948	2,492	3,563	3,977	3,622
財産事故等	8,979	10,949	10,394	10,663	8,990

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
第12条第1項等の規定に基づき通知された重大事故等	1,487	1,500	1,351	1,658	1,849
第12条第2項等の規定に基づき通知された消費者事故等	9,927	13,441	13,957	14,640	12,612

(備考) 1. 2020年4月1日から2025年3月31日までに消費者庁へ通知された消費者事故等の件数。  
 2. 生命身体事故等の件数には、過去に消費者庁へ通知された事案と同一の事案について、他の機関から通知された場合は含めていない。  
 3. 「第12条第1項等」の「等」とは、消費者安全法第29条第1項を示す。  
 4. 「第12条第2項等」の「等」とは、消費者安全法第29条第2項を示す。

### 資料2 消費者安全法第12条第1項等の規定に基づき通知された重大事故等

#### ○資料2-1 事故内容別件数

事故内容	2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
	件数	構成比								
火災	1,204	81.0%	1,252	83.5%	1,141	84.5%	1,256	75.8%	1,408	76.1%
発煙・発火・過熱	6	0.4%	4	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
点火・燃焼・消火不良	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
破裂	3	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	4	0.2%	2	0.1%
ガス爆発	0	0.0%	1	0.1%	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%
ガス漏れ	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
燃料・液漏れ等	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
化学物質による危険	2	0.1%	1	0.1%	0	0.0%	3	0.2%	0	0.0%
漏電・電波等の障害	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
製品破損	9	0.6%	8	0.5%	7	0.5%	11	0.7%	7	0.4%
部品脱落	1	0.1%	5	0.3%	2	0.1%	3	0.2%	4	0.2%
機能故障	4	0.3%	2	0.1%	0	0.0%	3	0.2%	1	0.1%
転落・転倒・不安定	108	7.3%	105	7.0%	103	7.6%	211	12.7%	260	14.1%
操作・使用性の欠落	1	0.1%	0	0.0%	3	0.2%	3	0.2%	0	0.0%
交通事故	13	0.9%	16	1.1%	12	0.9%	15	0.9%	13	0.7%
誤飲	2	0.1%	4	0.3%	2	0.1%	2	0.1%	0	0.0%
中毒	8	0.5%	6	0.4%	6	0.4%	14	0.8%	8	0.4%
異物の混入・侵入	0	0.0%	1	0.1%	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%
腐敗・変質	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	126	8.5%	95	6.3%	73	5.4%	133	8.0%	146	7.9%
無記入	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	1,487	100.0%	1,500	100.0%	1,351	100.0%	1,658	100.0%	1,849	100.0%

(備考) 2020年4月1日から2025年3月31日までに消費者庁へ通知された重大事故等の件数。資料11を参照。

## ○資料2-2 事故内容別分類と通知月別件数（2024年度）

事故内容	通知年月	2024年										2025年			計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
火災		129 (82)	101 (90)	117 (102)	109 (123)	115 (86)	104 (130)	123 (106)	103 (126)	111 (103)	133 (114)	122 (102)	141 (92)	1,408 (1,256)	
発煙・発火・過熱	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
点火・燃焼・消火不良	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
破裂	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (4)	
ガス爆発	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
ガス漏れ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
燃料・液漏れ等	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
化学物質による危険	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (3)	
漏電・電波等の障害	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
製品破損	1 (2)	0 (1)	1 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (2)	0 (0)	1 (1)	1 (1)	2 (2)	7 (11)		
部品脱落	1 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (3)	
機能故障	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	1 (0)	1 (3)	
転落・転倒・不安定	16 (8)	23 (15)	12 (11)	18 (28)	16 (16)	13 (10)	34 (26)	15 (17)	25 (12)	37 (39)	8 (8)	43 (21)	260 (211)		
操作・使用性の欠落	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (3)	
交通事故	2 (2)	1 (1)	0 (1)	2 (3)	1 (2)	0 (0)	0 (1)	1 (1)	0 (0)	1 (2)	4 (1)	1 (1)	13 (15)		
誤飲	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (2)	
中毒	0 (0)	1 (0)	0 (0)	2 (0)	1 (5)	0 (0)	0 (2)	0 (1)	2 (1)	0 (1)	2 (3)	0 (1)	8 (14)		
異物の混入・侵入	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
腐敗・変質	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
その他	17 (5)	10 (14)	11 (11)	12 (14)	12 (12)	3 (10)	17 (19)	9 (4)	19 (8)	12 (11)	10 (7)	14 (18)	146 (133)		
無記入	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
計	166 (99)	137 (122)	142 (127)	145 (169)	145 (123)	120 (155)	174 (155)	128 (155)	157 (125)	185 (168)	147 (124)	203 (136)	1,849 (1,658)		

(備考) 件数欄の（ ）内の数字は2023年度の件数。資料11を参照。

## ○資料2-3 商品等別件数（大分類）

	2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
	件数	構成比								
食料品	5	0.3%	2	0.1%	1	0.1%	2	0.1%	12	0.6%
家電製品	398	26.8%	413	27.5%	365	27.0%	400	24.1%	422	22.8%
住居品	196	13.2%	184	12.3%	162	12.0%	188	11.3%	145	7.8%
文具・娯楽用品	40	2.7%	37	2.5%	32	2.4%	47	2.8%	20	1.1%
光熱水品	49	3.3%	69	4.6%	59	4.4%	108	6.5%	177	9.6%
被服品	0	0.0%	6	0.4%	3	0.2%	5	0.3%	6	0.3%
保健衛生品	28	1.9%	18	1.2%	22	1.6%	35	2.1%	51	2.8%
車両・乗り物	457	30.7%	485	32.3%	418	30.9%	420	25.3%	459	24.8%
建物・設備	100	6.7%	101	6.7%	106	7.8%	110	6.6%	122	6.6%
保健・福祉サービス	124	8.3%	108	7.2%	132	9.8%	253	15.3%	328	17.7%
他の商品・サービス	90	6.1%	77	5.1%	51	3.8%	90	5.4%	107	5.8%
無記入	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	1,487	100.0%	1,500	100.0%	1,351	100.0%	1,658	100.0%	1,849	100.0%

(備考) 2020年4月1日から2025年3月31日までに消費者庁へ通知された重大事故等の件数。資料12を参照。

○資料2-4 年齢層別商品等別件数（中分類）<sup>1</sup>（2024年度）

年齢層	商品等内訳					年齢層別合計								
5歳未満	福祉（87）	商品・サービスその他（5）		嗜好・調理食品、自動車、医療（各1）			95							
5歳以上 10歳未満	福祉（40）	商品・サービスその他（3）		理美容器具・用品、自動車用品、他の建物・設備（各1）			46							
10歳代	商品・サービス その他（8）	自転車・自転車 用品（3）	福祉（2）	健康食品、生活家電、住生活用品、玩具・遊具、他の建物・ 設備（各1）			18							
20歳代	自転車・自転車用品、理美容（各2）		健康食品、住生活用品、他の建物・設備、医療、他の保健・福祉（各1）				9							
30歳代	家事用品、理美容、商品・サー ビスその他（各2）		生活家電、他の文具・娯楽用品、医療機器、他の建物・設備、福祉（各1）				11							
40歳代	商品・サービスその他（4）		福祉（2）	生活家電、医療、他の保健・福祉（各1）			9							
50歳代	福祉（7）	健康食品、商品・サービスその 他（各3）		他の住居品、医 療、理美容（各2）	生活家電、家事用品、自転車・自転車用品（各1）		22							
60歳代	商品・サービス その他（8）	福祉（4）	他の建物・設備 (3)	健康食品（2）	飲料・酒類、生活家電、自動車（各1）		20							
70歳代	商品・サービスその他（10）		福祉（9）	健康食品（2）	生活家電、他の住居品、自転車・自転車用品、 医療（各1）		25							
80歳以上	福祉（150）	商品・サービスその他（17）		他の住居品、医療機器、理美容器具・用品、自転車・自転車 用品（各1）			171							
無記入							1,423							
合計							1,849							

（備考）商品等内訳欄の（ ）内の数字は件数。資料12を参照。

○資料2-5 発生施設別件数

発生施設	2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
	件数	構成比								
住宅	502	33.8%	507	33.8%	687	50.9%	789	47.6%	853	46.1%
店舗・商業施設	114	7.7%	100	6.7%	103	7.6%	139	8.4%	120	6.5%
学校	3	0.2%	15	1.0%	12	0.9%	24	1.4%	29	1.6%
病院・福祉施設	107	7.2%	100	6.7%	115	8.5%	244	14.7%	302	16.3%
公園	3	0.2%	7	0.5%	11	0.8%	11	0.7%	19	1.0%
道路	276	18.6%	266	17.7%	221	16.4%	259	15.6%	287	15.5%
公共施設	2	0.1%	2	0.1%	6	0.4%	5	0.3%	6	0.3%
海・山・川等自然環境	1	0.1%	3	0.2%	4	0.3%	5	0.3%	4	0.2%
車内・機内・船内	67	4.5%	51	3.4%	56	4.1%	64	3.9%	66	3.6%
その他	30	2.0%	23	1.5%	81	6.0%	100	6.0%	90	4.9%
無記入	382	25.7%	426	28.4%	55	4.1%	18	1.1%	73	3.9%
計	1,487	100.0%	1,500	100.0%	1,351	100.0%	1,658	100.0%	1,849	100.0%

（備考）2020年4月1日から2025年3月31日までに消費者庁へ通知された重大事故等の件数。

1) 商品別分類のうち、中分類を使用。大分類と中分類の関係は、資料12を参照。なお、この表は、通知された重大事故等のうち、当該事故等による被害者が存在し、かつ当該被害者の年齢が明らかな事案を集計したものである。

○資料2-6 発生地域別件数<sup>2)</sup>

発生地域	2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
	件数	構成比								
北海道・東北	166	11.2%	177	11.8%	167	12.4%	145	8.7%	177	9.6%
関東	525	35.3%	520	34.7%	470	34.8%	672	40.5%	730	39.5%
中部	261	17.6%	261	17.4%	215	15.9%	248	15.0%	286	15.5%
近畿	266	17.9%	278	18.5%	262	19.4%	326	19.7%	328	17.7%
中国	92	6.2%	78	5.2%	75	5.6%	88	5.3%	92	5.0%
四国	33	2.2%	39	2.6%	39	2.9%	35	2.1%	54	2.9%
九州・沖縄	144	9.7%	147	9.8%	123	9.1%	144	8.7%	182	9.8%
計	1,487	100.0%	1,500	100.0%	1,351	100.0%	1,658	100.0%	1,849	100.0%

(備考) 2020年4月1日から2025年3月31日までに消費者庁へ通知された重大事故等の件数。

## 資料3 消費者安全法第12条第2項等の規定に基づき通知された消費者事故等

## (1) 生命身体事故等

## ○資料3-1 事故内容別件数

事故内容	2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
	件数	構成比								
発煙・発火・過熱	88	9.3%	85	3.4%	91	2.6%	90	2.3%	92	2.5%
点火・燃焼・消火不良	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.1%	0	0.0%
破裂	7	0.7%	1	0.0%	3	0.1%	3	0.1%	2	0.1%
ガス爆発	7	0.7%	5	0.2%	4	0.1%	0	0.0%	0	0.0%
ガス漏れ	7	0.7%	6	0.2%	2	0.1%	0	0.0%	0	0.0%
燃料・液漏れ等	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
化学物質による危険	42	4.4%	132	5.3%	32	0.9%	26	0.7%	21	0.6%
漏電・電波等の障害	0	0.0%	1	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
製品破損	3	0.3%	3	0.1%	2	0.1%	8	0.2%	8	0.2%
部品脱落	2	0.2%	2	0.1%	0	0.0%	3	0.1%	3	0.1%
機能故障	1	0.1%	1	0.0%	1	0.0%	0	0.0%	1	0.0%
転落・転倒・不安定	11	1.2%	49	2.0%	66	1.9%	178	4.5%	151	4.2%
操作・使用性の欠落	0	0.0%	2	0.1%	2	0.1%	2	0.1%	0	0.0%
交通事故	3	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	4	0.1%	8	0.2%
誤飲	2	0.2%	5	0.2%	6	0.2%	4	0.1%	3	0.1%
中毒	374	39.5%	355	14.2%	451	12.7%	615	15.5%	717	19.8%
異物の混入・侵入	4	0.4%	40	1.6%	536	15.0%	680	17.1%	631	17.4%
腐敗・変質	0	0.0%	20	0.8%	111	3.1%	183	4.6%	148	4.1%
その他	397	41.9%	1,785	71.6%	2,256	63.3%	2,179	54.8%	1,837	50.7%
無記入	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	948	100.0%	2,492	100.0%	3,563	100.0%	3,977	100.0%	3,622	100.0%

(備考) 2020年4月1日から2025年3月31日までに消費者庁へ通知された、重大事故等を除く生命身体事故等の件数。資料11を参照。

2) 北海道・東北：北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

中部：新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州・沖縄：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

○資料3-2 商品等別分類（大分類）

商品等別分類	2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
	件数	構成比								
食料品	500	52.7%	2,006	80.5%	3,008	84.4%	3,266	82.1%	2,944	81.3%
家電製品	30	3.2%	23	0.9%	25	0.7%	25	0.6%	29	0.8%
住居品	44	4.6%	45	1.8%	45	1.3%	34	0.9%	36	1.0%
文具・娯楽用品	5	0.5%	10	0.4%	7	0.2%	10	0.3%	4	0.1%
光熱水品	3	0.3%	0	0.0%	2	0.1%	5	0.1%	7	0.2%
被服品	1	0.1%	1	0.0%	2	0.1%	0	0.0%	0	0.0%
保健衛生品	7	0.7%	6	0.2%	8	0.2%	13	0.3%	7	0.2%
車両・乗り物	278	29.3%	272	10.9%	274	7.7%	265	6.7%	261	7.2%
建物・設備	32	3.4%	37	1.5%	51	1.4%	30	0.8%	31	0.9%
保健・福祉サービス	33	3.5%	83	3.3%	131	3.7%	310	7.8%	275	7.6%
他の商品・サービス	15	1.6%	9	0.4%	10	0.3%	19	0.5%	28	0.8%
無記入	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	948	100.0%	2,492	100.0%	3,563	100.0%	3,977	100.0%	3,622	100.0%

(備考) 2020年4月1日から2025年3月31日までに消費者庁へ通知された、重大事故等を除く生命身体事故等の件数。資料12を参照。

○資料3-3 発生施設別件数

発生施設	2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
	件数	構成比								
住宅	96	10.1%	84	3.4%	101	2.8%	97	2.4%	86	2.4%
店舗・商業施設	375	39.6%	324	13.0%	460	12.9%	598	15.0%	677	18.7%
学校	14	1.5%	11	0.4%	8	0.2%	19	0.5%	30	0.8%
病院・福祉施設	50	5.3%	95	3.8%	124	3.5%	309	7.8%	294	8.1%
公園	2	0.2%	3	0.1%	12	0.3%	11	0.3%	12	0.3%
道路	5	0.5%	11	0.4%	9	0.3%	11	0.3%	11	0.3%
公共施設	1	0.1%	0	0.0%	8	0.2%	7	0.2%	5	0.1%
海・山・川等自然環境	1	0.1%	1	0.0%	2	0.1%	2	0.1%	2	0.1%
車内・機内・船内	2	0.2%	2	0.1%	4	0.1%	9	0.2%	1	0.0%
その他	78	8.2%	41	1.6%	40	1.1%	7	0.2%	11	0.3%
無記入	324	34.2%	1,920	77.0%	2,795	78.4%	2,907	73.1%	2,493	68.8%
計	948	100.0%	2,492	100.0%	3,563	100.0%	3,977	100.0%	3,622	100.0%

(備考) 2020年4月1日から2025年3月31日までに消費者庁へ通知された、重大事故等を除く生命身体事故等の件数。

○資料3-4 発生地域別件数<sup>3</sup>

発生地域	2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
	件数	構成比								
北海道・東北	65	6.9%	250	10.0%	308	8.6%	408	10.3%	410	11.3%
関東	271	28.6%	713	28.6%	1,247	35.0%	1,351	34.0%	1,092	30.1%
中部	109	11.5%	442	17.7%	545	15.3%	624	15.7%	665	18.4%
近畿	113	11.9%	281	11.3%	413	11.6%	560	14.1%	505	13.9%
中国	34	3.6%	135	5.4%	166	4.7%	185	4.7%	170	4.7%
四国	26	2.7%	113	4.5%	128	3.6%	154	3.9%	140	3.9%
九州・沖縄	57	6.0%	237	9.5%	482	13.5%	420	10.6%	380	10.5%
無記入	273	28.8%	321	12.9%	274	7.7%	275	6.9%	260	7.2%
計	948	100.0%	2,492	100.0%	3,563	100.0%	3,977	100.0%	3,622	100.0%

(備考) 2020年4月1日から2025年3月31日までに消費者庁へ通知された、重大事故等を除く生命身体事故等の件数。

## (2) 財産事案

## ○資料3-5 商品等別件数

商品別分類	2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
	件数	構成比								
商品一般	444	4.9%	382	3.5%	384	3.7%	289	2.7%	400	4.4%
食料品	964	10.7%	597	5.5%	380	3.7%	456	4.3%	508	5.7%
住居品	334	3.7%	341	3.1%	348	3.3%	302	2.8%	275	3.1%
光熱水品	1,059	11.8%	3,174	29.0%	3,155	30.4%	3,303	31.0%	2,088	23.2%
被服品	247	2.8%	294	2.7%	262	2.5%	253	2.4%	227	2.5%
保健衛生品	704	7.8%	493	4.5%	495	4.8%	529	5.0%	507	5.6%
教養・娯楽品	572	6.4%	515	4.7%	484	4.7%	492	4.6%	491	5.5%
車両・乗り物	170	1.9%	183	1.7%	152	1.5%	175	1.6%	168	1.9%
土地・建物・設備	243	2.7%	415	3.8%	233	2.2%	285	2.7%	351	3.9%
他の商品	21	0.2%	24	0.2%	22	0.2%	36	0.3%	26	0.3%
商品全体	4,758	53.0%	6,418	58.6%	5,915	56.9%	6,120	57.4%	5,041	56.1%
クリーニング	2	0.0%	3	0.0%	8	0.1%	4	0.0%	7	0.1%
レンタル・リース・貸借	64	0.7%	42	0.4%	42	0.4%	71	0.7%	48	0.5%
工事・建築・加工	314	3.5%	247	2.3%	278	2.7%	302	2.8%	314	3.5%
修理・補修	176	2.0%	559	5.1%	182	1.8%	295	2.8%	169	1.9%
管理・保管	7	0.1%	11	0.1%	9	0.1%	10	0.1%	5	0.1%
役務一般	17	0.2%	38	0.3%	26	0.3%	17	0.2%	34	0.4%
金融・保険サービス	973	10.8%	973	8.9%	1,381	13.3%	1,276	12.0%	942	10.5%
運輸・通信サービス	814	9.1%	367	3.4%	168	1.6%	213	2.0%	141	1.6%
教育サービス	128	1.4%	126	1.2%	96	0.9%	108	1.0%	78	0.9%
教養・娯楽サービス	430	4.8%	620	5.7%	630	6.1%	650	6.1%	778	8.7%
保健・福祉サービス	471	5.2%	570	5.2%	580	5.6%	639	6.0%	645	7.2%
他の役務	469	5.2%	661	6.0%	682	6.6%	597	5.6%	613	6.8%
内職・副業・ねずみ講	156	1.7%	138	1.3%	248	2.4%	148	1.4%	49	0.5%
他の行政サービス	38	0.4%	11	0.1%	24	0.2%	18	0.2%	40	0.4%
サービス全体	4,059	45.2%	4,366	39.9%	4,354	41.9%	4,348	40.8%	3,863	43.0%
他の相談	162	1.8%	165	1.5%	125	1.2%	195	1.8%	86	1.0%
計	8,979	100.0%	10,949	100.0%	10,394	100.0%	10,663	100.0%	8,990	100.0%

(備考) 1. 2020年4月1日から2025年3月31日までに消費者庁へ通知された消費者事故等のうち、財産事案の件数。資料13を参照。  
 2. 商品等別は商品別分類（大分類）を使用。資料13を参照。

- 3) 北海道・東北：北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県  
 関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県  
 中部：新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県  
 近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県  
 中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県  
 四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県  
 九州・沖縄：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

## 資料4 PIO-NETに収集された情報

### ○資料4-1 商品等別件数

商品別分類	2020年		2021年			2022年		2023年			2024年	
			(1~3月)		(4~12月)			(1~3月)		(4~12月)		
	件数	構成比	件数	構成比								
商品一般	90,151	9.6%	22,327	10.0%	58,352	9.2%	79,576	9.1%	20,043	8.5%	65,825	9.7%
食料品	89,333	9.5%	14,534	6.5%	42,976	6.8%	55,117	6.3%	15,507	6.6%	42,940	6.3%
住居品	37,485	4.0%	8,830	4.0%	26,744	4.2%	41,233	4.7%	9,733	4.1%	28,010	4.1%
光熱水品	18,043	1.9%	5,933	2.7%	14,240	2.2%	19,994	2.3%	6,693	2.8%	12,668	1.9%
被服品	45,502	4.8%	10,670	4.8%	36,462	5.7%	54,269	6.2%	12,801	5.4%	37,280	5.5%
保健衛生品	79,471	8.4%	15,682	7.0%	46,751	7.4%	78,841	9.0%	36,534	15.5%	58,382	8.6%
教養娯楽品	69,270	7.4%	18,000	8.1%	50,248	7.9%	71,451	8.2%	17,429	7.4%	52,850	7.8%
車両・乗り物	20,544	2.2%	5,301	2.4%	16,082	2.5%	21,881	2.5%	5,839	2.5%	20,674	3.0%
土地・建物・設備	22,677	2.4%	5,794	2.6%	17,144	2.7%	22,449	2.6%	5,894	2.5%	18,754	2.8%
他の商品	1,263	0.1%	276	0.1%	1,042	0.2%	1,417	0.2%	393	0.2%	1,292	0.2%
商品全体	473,739	50.3%	107,347	48.2%	310,041	48.7%	446,228	50.9%	130,866	55.7%	338,675	49.9%
クリーニング	2,803	0.3%	520	0.2%	1,905	0.3%	2,543	0.3%	507	0.2%	2,043	0.3%
レンタル・リース・貸借	42,723	4.5%	11,370	5.1%	32,439	5.1%	41,604	4.7%	11,084	4.7%	33,387	4.9%
工事・建築・加工	27,220	2.9%	6,987	3.1%	22,242	3.5%	28,520	3.3%	7,173	3.1%	23,806	3.5%
修理・補修	16,054	1.7%	4,648	2.1%	13,038	2.0%	16,052	1.8%	4,174	1.8%	14,470	2.1%
管理・保管	1,635	0.2%	367	0.2%	1,255	0.2%	1,637	0.2%	467	0.2%	1,470	0.2%
役務一般	2,803	0.3%	826	0.4%	6,101	1.0%	6,516	0.7%	1,556	0.7%	5,340	0.8%
金融・保険サービス	56,688	6.0%	14,841	6.7%	43,577	6.9%	59,911	6.8%	14,934	6.4%	51,381	7.6%
運輸・通信サービス	165,912	17.6%	40,904	18.4%	53,025	8.3%	63,754	7.3%	15,879	6.8%	49,395	7.3%
教育サービス	3,998	0.4%	936	0.4%	2,424	0.4%	3,094	0.4%	718	0.3%	2,103	0.3%
教養・娯楽サービス	33,466	3.6%	5,960	2.7%	59,151	9.3%	76,904	8.8%	17,840	7.6%	55,380	8.2%
保健・福祉サービス	36,829	3.9%	7,812	3.5%	28,845	4.5%	53,263	6.1%	11,013	4.7%	38,273	5.6%
他の役務	47,939	5.1%	12,847	5.8%	40,105	6.3%	52,317	6.0%	13,655	5.8%	44,470	6.5%
内職・副業・ねずみ講	5,387	0.6%	1,700	0.8%	9,443	1.5%	10,396	1.2%	2,326	1.0%	9,210	1.4%
他の行政サービス	7,697	0.8%	1,525	0.7%	2,848	0.4%	6,035	0.7%	1,052	0.4%	3,918	0.6%
サービス全体	451,154	47.9%	111,243	50.0%	316,398	49.7%	422,546	48.2%	102,378	43.5%	334,646	49.3%
他の相談	16,228	1.7%	4,105	1.8%	9,610	1.5%	7,319	0.8%	1,912	0.8%	5,903	0.9%
計	941,121	100.0%	222,695	100.0%	636,049	100.0%	876,093	100.0%	235,156	100.0%	679,224	100.0%

(備考) 1. PIO-NETに登録された消費生活相談情報（2025年3月31日までの登録分）。

2. 商品等別は商品別分類（大分類）を使用。資料13を参照。

### ○資料4-2 相談内容別件数

相談内容	2020年		2021年		2022年		2023年		2024年	
	件数	構成比								
安全・衛生	29,360	3.1%	26,220	3.1%	25,695	2.9%	27,195	3.0%	28,271	3.1%
品質・機能、役務品質	107,111	11.4%	105,082	12.2%	103,565	11.8%	106,557	11.7%	105,758	11.8%
法規・基準	21,760	2.3%	20,597	2.4%	20,849	2.4%	21,903	2.4%	20,522	2.3%
価格・料金	124,004	13.2%	119,195	13.9%	122,182	13.9%	131,549	14.4%	124,455	13.8%
計量・量目	1,018	0.1%	874	0.1%	1,032	0.1%	1,053	0.1%	969	0.1%
表示・広告	75,772	8.1%	70,242	8.2%	76,003	8.7%	82,852	9.1%	83,210	9.2%
販売方法	471,389	50.1%	436,179	50.8%	452,167	51.6%	476,244	52.1%	469,667	52.2%
契約・解約	709,334	75.4%	643,165	74.9%	673,642	76.9%	702,700	76.8%	681,009	75.7%
接客対応	140,773	15.0%	134,259	15.6%	138,739	15.8%	140,491	15.4%	131,779	14.6%
包装・容器	885	0.1%	1,143	0.1%	696	0.1%	781	0.1%	655	0.1%
施設・設備	1,310	0.1%	1,318	0.2%	1,315	0.2%	1,378	0.2%	1,361	0.2%

(備考) 1. PIO-NETに登録された消費生活相談情報（2025年3月31日までの登録分）。

2. 相談内容別分類は複数回答項目。

3. 構成比は、資料4-1に示されている各年の相談件数計に対する割合。

## ○資料4-3 危害・危険別件数

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
危害情報	12,925	11,293	12,895	12,517	11,901
危険情報	2,105	1,946	2,052	2,317	2,108
計	15,030	13,239	14,947	14,834	14,009

(備考) PIO-NETに登録された消費生活相談情報（2025年3月31日までの登録分）。

## ○資料4-4 危害情報の危害内容別件数

相談内容	2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
	件数	構成比								
骨折	231	1.8%	225	2.0%	254	2.0%	250	2.0%	226	1.9%
脱臼・捻挫	58	0.4%	52	0.5%	74	0.6%	52	0.4%	53	0.4%
切断	0	0.0%	1	0.0%	2	0.0%	2	0.0%	6	0.1%
擦過傷・挫傷・打撲傷	564	4.4%	563	5.0%	612	4.7%	579	4.6%	466	3.9%
刺傷・切傷	400	3.1%	433	3.8%	449	3.5%	439	3.5%	432	3.6%
頭蓋（内）損傷	20	0.2%	15	0.1%	22	0.2%	15	0.1%	12	0.1%
内臓損傷	15	0.1%	13	0.1%	2	0.0%	9	0.1%	11	0.1%
神経・脊髄の損傷	185	1.4%	199	1.8%	182	1.4%	199	1.6%	190	1.6%
筋・腱の損傷	58	0.4%	64	0.6%	64	0.5%	62	0.5%	71	0.6%
窒息	10	0.1%	9	0.1%	9	0.1%	12	0.1%	11	0.1%
感覚機能の低下	81	0.6%	66	0.6%	85	0.7%	85	0.7%	125	1.1%
熱傷	527	4.1%	549	4.9%	545	4.2%	627	5.0%	543	4.6%
凍傷	4	0.0%	4	0.0%	8	0.1%	20	0.2%	8	0.1%
皮膚障害	4,526	35.0%	4,451	39.4%	5,404	41.9%	4,414	35.3%	4,066	34.2%
感電障害	8	0.1%	13	0.1%	7	0.1%	5	0.0%	10	0.1%
中毒	98	0.8%	71	0.6%	120	0.9%	151	1.2%	160	1.3%
呼吸器障害	375	2.9%	279	2.5%	306	2.4%	342	2.7%	299	2.5%
消化器障害	2,847	22.0%	1,183	10.5%	1,324	10.3%	1,529	12.2%	1,724	14.5%
その他の傷病及び諸症状	2,636	20.4%	2,873	25.4%	3,195	24.8%	3,467	27.7%	3,307	27.8%
不明	282	2.2%	230	2.0%	231	1.8%	258	2.1%	181	1.5%
計	12,925	100.0%	11,293	100.0%	12,895	100.0%	12,517	100.0%	11,901	100.0%

(備考) PIO-NETに登録された消費生活相談情報（2025年3月31日までの登録分）。

○資料4-5 危険情報の危険内容別件数

相談内容	2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
	件数	構成比								
火災	43	2.0%	50	2.6%	55	2.7%	56	2.4%	66	3.1%
発火・引火	213	10.1%	199	10.2%	184	9.0%	162	7.0%	168	8.0%
発煙・火花	298	14.2%	284	14.6%	269	13.1%	292	12.6%	246	11.7%
過熱・こげる	325	15.4%	284	14.6%	302	14.7%	293	12.6%	311	14.8%
ガス爆発	1	0.0%	3	0.2%	3	0.1%	1	0.0%	1	0.0%
ガス漏れ	15	0.7%	10	0.5%	15	0.7%	15	0.6%	21	1.0%
点火・燃焼・消火不良	15	0.7%	15	0.8%	10	0.5%	25	1.1%	26	1.2%
漏電・電波等の障害	7	0.3%	9	0.5%	8	0.4%	13	0.6%	8	0.4%
燃料・液漏れ等	56	2.7%	49	2.5%	51	2.5%	58	2.5%	42	2.0%
化学物質による危険	12	0.6%	9	0.5%	10	0.5%	77	3.3%	11	0.5%
破裂	34	1.6%	41	2.1%	27	1.3%	56	2.4%	45	2.1%
破損・折損	218	10.4%	198	10.2%	217	10.6%	217	9.4%	184	8.7%
部品脱落	63	3.0%	68	3.5%	61	3.0%	54	2.3%	58	2.8%
機能故障	220	10.5%	216	11.1%	260	12.7%	304	13.1%	271	12.9%
転落・転倒・不安定	41	1.9%	42	2.2%	45	2.2%	35	1.5%	33	1.6%
バリ <sup>4</sup> ・銳利	8	0.4%	6	0.3%	6	0.3%	10	0.4%	8	0.4%
操作・使用性の欠落	40	1.9%	48	2.5%	44	2.1%	57	2.5%	35	1.7%
腐敗・変質	7	0.3%	16	0.8%	14	0.7%	20	0.9%	23	1.1%
異物の混入	280	13.3%	271	13.9%	316	15.4%	334	14.4%	355	16.8%
異物の侵入	12	0.6%	10	0.5%	8	0.4%	9	0.4%	3	0.1%
その他	192	9.1%	118	6.1%	147	7.2%	228	9.8%	191	9.1%
不明	5	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.0%	2	0.1%
計	2,105	100.0%	1,946	100.0%	2,052	100.0%	2,317	100.0%	2,108	100.0%

(備考) PIO-NETに登録された消費生活相談情報（2025年3月31日までの登録分）。

4) 商品の角等が滑らかに処理されていないこと。

○資料4-6 危害情報の商品等別件数

商品別分類	2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
	件数	構成比								
商品一般	117	0.9%	127	1.1%	155	1.2%	115	0.9%	123	1.0%
食料品	4,373	33.8%	1,987	17.6%	2,021	15.7%	2,411	19.3%	2,664	22.4%
住居品	850	6.6%	776	6.9%	874	6.8%	806	6.4%	757	6.4%
光熱水品	35	0.3%	32	0.3%	24	0.2%	28	0.2%	24	0.2%
被服品	195	1.5%	212	1.9%	216	1.7%	225	1.8%	215	1.8%
保健衛生品	3,469	26.8%	3,967	35.1%	4,938	38.3%	3,950	31.6%	3,548	29.8%
教養娯楽品	411	3.2%	338	3.0%	318	2.5%	300	2.4%	239	2.0%
車両・乗り物	164	1.3%	151	1.3%	143	1.1%	134	1.1%	119	1.0%
土地・建物・設備	122	0.9%	103	0.9%	106	0.8%	80	0.6%	68	0.6%
他の商品	6	0.0%	1	0.0%	1	0.0%	4	0.0%	2	0.0%
商品全体	9,742	75.4%	7,694	68.1%	8,796	68.2%	8,053	64.3%	7,759	65.2%
クリーニング	5	0.0%	5	0.0%	2	0.0%	5	0.0%	8	0.1%
レンタル・リース・貸借	343	2.7%	320	2.8%	330	2.6%	294	2.3%	242	2.0%
工事・建築・加工	95	0.7%	83	0.7%	101	0.8%	68	0.5%	85	0.7%
修理・補修	9	0.1%	19	0.2%	20	0.2%	21	0.2%	18	0.2%
管理・保管	2	0.0%	2	0.0%	7	0.1%	3	0.0%	4	0.0%
役務一般	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
金融・保険サービス	7	0.1%	7	0.1%	8	0.1%	12	0.1%	3	0.0%
運輸・通信サービス	55	0.4%	44	0.4%	57	0.4%	48	0.4%	50	0.4%
教育サービス	4	0.0%	7	0.1%	7	0.1%	5	0.0%	4	0.0%
教養・娯楽サービス	188	1.5%	252	2.2%	360	2.8%	382	3.1%	386	3.2%
保健・福祉サービス	2,221	17.2%	2,610	23.1%	2,880	22.3%	3,212	25.7%	2,914	24.5%
他の役務	239	1.8%	241	2.1%	320	2.5%	406	3.2%	419	3.5%
内職・副業・ねずみ講	3	0.0%	1	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.0%
他の行政サービス	12	0.1%	8	0.1%	7	0.1%	8	0.1%	7	0.1%
サービス全体	3,183	24.6%	3,599	31.9%	4,099	31.8%	4,464	35.7%	4,142	34.8%
他の相談	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	12,925	100.0%	11,293	100.0%	12,895	100.0%	12,517	100.0%	11,901	100.0%

(備考) 1. PIO-NETに登録された消費生活相談情報（2025年3月31日までの登録分）。

2. 商品等別は商品別分類（大分類）を使用。資料13を参照。

○資料4-7 危険情報の商品等別件数

商品別分類	2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
	件数	構成比								
商品一般	5	0.2%	5	0.3%	6	0.3%	3	0.1%	7	0.3%
食料品	287	13.6%	268	13.8%	310	15.1%	451	19.5%	394	18.7%
住居品	658	31.3%	583	30.0%	614	29.9%	656	28.3%	586	27.8%
光熱水品	42	2.0%	37	1.9%	33	1.6%	47	2.0%	53	2.5%
被服品	26	1.2%	37	1.9%	26	1.3%	23	1.0%	23	1.1%
保健衛生品	111	5.3%	88	4.5%	107	5.2%	97	4.2%	102	4.8%
教養娯楽品	335	15.9%	289	14.9%	246	12.0%	246	10.6%	214	10.2%
車両・乗り物	381	18.1%	340	17.5%	392	19.1%	459	19.8%	415	19.7%
土地・建物・設備	56	2.7%	59	3.0%	57	2.8%	60	2.6%	50	2.4%
他の商品	5	0.2%	8	0.4%	2	0.1%	1	0.0%	4	0.2%
商品全体	1,906	90.5%	1,714	88.1%	1,793	87.4%	2,043	88.2%	1,848	87.7%
クリーニング	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
レンタル・リース・貸借	54	2.6%	63	3.2%	64	3.1%	65	2.8%	63	3.0%
工事・建築・加工	29	1.4%	37	1.9%	37	1.8%	35	1.5%	36	1.7%
修理・補修	40	1.9%	45	2.3%	52	2.5%	60	2.6%	44	2.1%
管理・保管	0	0.0%	2	0.1%	9	0.4%	0	0.0%	2	0.1%
役務一般	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
金融・保険サービス	2	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	6	0.3%	4	0.2%
運輸・通信サービス	14	0.7%	12	0.6%	14	0.7%	17	0.7%	10	0.5%
教育サービス	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
教養・娯楽サービス	4	0.2%	9	0.5%	11	0.5%	11	0.5%	9	0.4%
保健・福祉サービス	20	1.0%	9	0.5%	21	1.0%	23	1.0%	32	1.5%
他の役務	36	1.7%	55	2.8%	47	2.3%	56	2.4%	60	2.8%
内職・副業・ねずみ講	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
他の行政サービス	0	0.0%	0	0.0%	4	0.2%	1	0.0%	0	0.0%
サービス全体	199	9.5%	232	11.9%	259	12.6%	274	11.8%	260	12.3%
他の相談	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	2,105	100.0%	1,946	100.0%	2,052	100.0%	2,317	100.0%	2,108	100.0%

(備考) 1. PIO-NETに登録された消費生活相談情報（2025年3月31日までの登録分）。

2. 商品等別は商品別分類（大分類）を使用。資料13を参照。

## ○資料4-8 危害情報の被害者年齢層別商品別上位件数（2024年度）

年齢層	商品等内訳						年齢層別合計
5歳未満	外食 (9)	育児家具類 (6)	他の玩具・遊具、不動産賃貸 (各5)	乳製品、ホテル・旅館、遊園地・レジャーランド (各4)			89
	パン類、他の住居雑品、スポーツ・健康教室、遊興施設利用、医療サービス (各3)		商品一般、ケーキ、他の菓子類、ベビーフード、撮影サービス、パーマ (各2)				
5歳以上10歳未満	外食 (10)	スポーツ・健康教室 (6)	ケーキ、洗濯用洗浄剤、歯科治療 (各3)	パン類、冷凍冷蔵機器、花火、他の玩具・遊具、ペット動物、ホテル・旅館、スポーツ施設利用、他のレジャー施設利用、医療サービス、浴場 (各2)			76
	大豆加工品、他の野菜・海草加工品、他の洋生菓子、あめ、他の菓子類、弁当、カルシウム剤、電気空調・冷房機器、机・テーブル類、ベッド類、敷物類、学生かばん、頭髪用具、保健衛生品その他、模似玩具、カブセル（入り）玩具、他の楽器、室内装飾品、四輪自動車、自転車、他の乗り物、不動産賃貸、工事・建築、学習塾、絵画・彫刻・手工芸教室、遊興施設利用、遊園地・レジャーランド、教養・娯楽サービスその他、パーマ、無認可保育園、保育園 (各1)						
10歳代	基礎化粧品、自転車 (各24)	医療サービス (20)	他の健康食品 (17)	パーマ (15)	不動産賃借 (8)		211
	エステティックサービス (7)	外食 (6)	他の化粧品、ホテル・旅館、スポーツ・健康教室、歯科治療 (各5)	他の美容サービス (4)	フライ類、頭髪用化粧品、整体 (各3)		
20歳代	医療サービス (166)	エステティックサービス (88)	外食 (62)	パーマ (56)	他の美容サービス (39)		729
	整体 (34)	歯科治療 (31)	基礎化粧品 (24)	まつ毛エクステンション (19)	不動産賃借 (18)		
30歳代	医療サービス (200)	エステティックサービス (63)	外食 (55)	他の健康食品 (54)	整体 (42)		1,000
	パーマ (41)	基礎化粧品 (39)	歯科治療 (38)	不動産賃借 (37)	他の化粧品 (30)		
40歳代	医療サービス (209)	基礎化粧品 (130)	他の健康食品 (109)	洗濯用洗浄剤 (67)	エステティックサービス (66)		1,542
	頭髪用化粧品 (65)	整体 (62)	パーマ (56)	歯科治療 (54)	外食 (43)		
50歳代	基礎化粧品 (370)	他の健康食品 (294)	医療サービス (209)	頭髪用化粧品 (140)	洗濯用洗浄剤、他の化粧品 (各75)		2,395
	歯科治療 (72)	メイクアップ化粧品、整体 (各71)	外食 (59)	パーマ (54)	エステティックサービス (51)		
60歳代	基礎化粧品 (449)	他の健康食品 (347)	頭髪用化粧品 (199)	メイクアップ化粧品 (90)	医療サービス (87)		2,138
	他の化粧品 (60)	整体 (50)	酵素食品、歯科治療 (各44)	商品一般 (31)	洗濯用洗浄剤 (30)		
70歳代	他の健康食品 (363)	基礎化粧品 (322)	頭髪用化粧品 (159)	医療サービス (92)	他の化粧品 (55)		1,838
	医薬ビタミン剤 (53)	歯科治療 (49)	メイクアップ化粧品 (45)	整体 (43)	健康食品（全般） (24)		
80歳以上	他の健康食品 (147)	基礎化粧品 (69)	頭髪用化粧品 (56)	医療サービス (55)	医薬ビタミン剤 (48)		862
	歯科治療 (29)	他の化粧品 (25)	漢方薬 (21)	老人ホーム (20)	保健衛生品その他 (14)		
無回答	医療サービス (78)	外食 (63)	他の健康食品、基礎化粧品 (各61)	洗濯用洗浄剤 (39)	頭髪用化粧品 (38)		1,021
	パーマ (33)	不動産賃借、歯科治療 (各31)	他の化粧品 (24)	エステティックサービス、整体 (各19)	工事・建築 (18)		
計							11,901

(備考) 1. PIO-NETに登録された消費生活相談情報（2025年3月31日までの登録分）。

2. ( ) 内の数字は件数。

3. 商品等内訳は商品キーワード（中位）。

資料5 事故等原因調査等の申出<sup>5</sup>件数（2024年度）

分野別内訳	申出件数												
	2024年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2025年1月	2月	3月	累計
食品	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
製品	5	2	2	0	2	2	1	3	1	2	3	3	26
施設	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
業務	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	3
その他	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
総件数	6	2	4	0	2	2	3	3	1	2	4	3	32

(備考) 「その他」には明らかに消費者事故ではないものも含む。原因究明の過程で、当該分野が変更される可能性がある。

5) 消費者安全法改正（2012年10月1日施行）に伴う「消費者安全調査委員会」の設置と同時に開始された事故等原因調査等の申出制度によるもの。

## 資料6 消費生活用製品安全法の規定に基づき報告された重大製品事故

### ○資料6-1 製品別報告件数

製品	2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
	件数	構成比								
ガス機器・石油機器	140	13.7%	108	10.9%	144	13.0%	149	12.7%	113	8.7%
電気製品	640	62.5%	671	67.9%	747	67.4%	844	72.1%	1,012	78.1%
その他	244	23.8%	209	21.2%	217	19.6%	177	15.1%	170	13.1%
合 計	1,024	100.0%	988	100.0%	1,108	100.0%	1,170	100.0%	1,295	100.0%

(備考) 消費生活用製品安全法の規定に基づき、消費者庁に報告された重大製品事故の件数。

### ○資料6-2 製品別上位品目（上位5位まで）

#### 〈ガス機器・石油機器〉

2022年度				2023年度				2024年度			
	品目名	件数	構成比		品目名	件数	構成比		品目名	件数	構成比
1	石油ストーブ	36	25.0%	1	石油ストーブ	45	30.2%	1	石油ストーブ	27	23.9%
2	ガストーチ	25	17.4%	2	ガスこんろ	22	14.8%	2	ガスこんろ	16	14.2%
3	ガスこんろ	18	12.5%	3	ガストーチ	19	12.8%	3	ガストーチ	11	9.7%
4	石油給湯機	14	9.7%	4	石油給湯機	13	8.7%		石油温風暖房機	11	9.7%
5	石油温風暖房機	8	5.6%	5	石油温風暖房機	10	6.7%	5	石油給湯器	9	8.0%

#### 〈電気製品〉

2022年度				2023年度				2024年度			
	品目名	件数	構成比		品目名	件数	構成比		品目名	件数	構成比
1	電池（バッテリー）	115	15.4%	1	電池（バッテリー）	126	14.9%	1	電池（バッテリー）	192	19.0%
2	照明器具	57	7.6%	2	照明器具	67	7.9%	2	照明器具	51	5.0%
3	エアコン（室外機）	40	5.4%	3	電気ストーブ	41	4.8%	3	パソコン	38	3.8%
4	電気ストーブ	34	4.6%	4	パソコン	38	4.5%		エアコン（室外機）	38	3.8%
5	エアコン（窓用含む。）	31	4.1%	5	エアコン（室外機）	31	3.7%	5	パワーコンディショナ	35	3.5%

#### 〈その他〉

2022年度				2023年度				2024年度			
	品目名	件数	構成比		品目名	件数	構成比		品目名	件数	構成比
1	自転車	106	48.8%	1	自転車	72	40.2%	1	自転車	68	40.0%
2	脚立・踏み台・はしご	14	6.5%	2	椅子	15	8.4%	2	脚立・踏み台・はしご	17	10.0%
3	除雪機	9	4.1%	3	車いす	10	5.6%	3	車いす	9	5.3%
4	椅子	7	3.2%	4	靴・サンダル	7	3.9%		靴・サンダル	9	5.3%
	靴・サンダル	7	3.2%	5	脚立・踏み台・はしご	6	3.4%	5	椅子	7	4.1%

(備考) 1. 消費生活用製品安全法の規定に基づき、消費者庁に報告された重大製品事故の件数。

2. 構成比は、資料6-1に示されている各年度の製品別報告件数に占める割合。

## 資料7 消費者庁が行った法執行・行政処分等

### ○資料7-1 消費者庁が行った主な法執行・行政処分等（年度別件数）

#### 〈食品衛生法〉

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
命 令	0	0	0	0	0

#### 〈日本農林規格等に関する法律<sup>※1</sup>〉

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
指 示	0	0	0	0	0
命 令	0	0	0	0	0

#### 〈家庭用品品質表示法<sup>※2</sup>〉

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
指 示	2	3	4	0	0

#### 〈不当景品類及び不当表示防止法<sup>※3</sup>〉

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
措置命令	33	41	41	44	26
課徴金納付命令	15	15	17	12	7
確約手続					1

#### 〈消費生活用製品安全法〉

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
体制整備命令	0	0	0	0	0
提出命令	0	0	0	0	0

#### 〈特定商取引に関する法律<sup>※4</sup>〉

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
業務停止命令	33	13	12	32	24
業務禁止命令	23	15	10	31	21
指 示	33	13	12	32	24

#### 〈預託等取引に関する法律<sup>※5</sup>〉

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
取引停止命令	0	0	0	0	0
措置命令	0	0	0	0	1
業務禁止命令			0	0	0

#### 〈特定電子メールの送信の適正化等に関する法律〉

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
行政処分	0	0	0	0	0

#### 〈健康増進法〉

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
勧 告	0	0	0	0	0

#### 〈消費者安全法〉

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
注意喚起	34	22	27	16	19
意 見	10	4	2	1	2

〈米穀等の取引等に係る情報の記録及び産地情報の伝達に関する法律〉

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
勧告	0	0	0	0	0
命令	0	0	0	0	0

〈食品表示法〉

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
命令 <sup>※6</sup>	0	0	0	0	0
指示	0	1	2	0	0

〈取引デジタルプラットフォームを利用する消費者の利益の保護に関する法律〉

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
要請			1	0	5

〈公益通報者保護法<sup>※7</sup>〉

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
是正指導			0	24	6

〈法人等による寄附の不当な勧誘の防止等に関する法律<sup>※8</sup>〉

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
勧告				0	0
命令				0	0

※1 2018年4月1日に、法律の名称が「農林物資の規格化等に関する法律」から変更された。

※2 件数の数え方について、2021年度に、指示対象品目件数から、指示対象者件数に改めている。

※3 確約手続は、2024年10月1日施行の改正景品表示法により新設された。

※4 同法第69条第3項の規定に基づき消費者庁長官の権限委任を受けた各経済産業局長が実施したものを含む。業務禁止命令は、2017年12月1日施行の改正特定商取引法により新設された。

※5 2022年6月1日に、法律の名称が「特定商品等の預託等取引契約に関する法律」から変更され、業務禁止命令が新設された。

※6 件数は食品表示法第6条第5項に基づく命令及び同法第6条第8項に基づく回収等命令の合計件数。また、( )の件数は、食品表示法第6条第5項に基づく命令件数であり、内数となっている。

※7 同法改正により、2022年6月から、公益通報に適切に対応するために必要な体制整備義務違反等に対する行政措置（助言、指導又は勧告）が新設された。

※8 2022年12月に同法成立。2023年4月から、行政上の措置に係る規定が施行された。

## ○資料7-2 消費者安全法の規定に基づく消費者への注意喚起(2024年度)

実施時期	件名	内容
2024年 6月11日	大手通信関連会社の名称をかたり、自動音声や国際電話番号等を用いて架空の利用料金請求を行う事業者に関する注意喚起	携帯電話等への自動音声ガイダンスやSMSのメッセージ等を用いて、「NTTファイナンス」又は「NTT」の名称をかたり、会員サイト等の利用料金が未納であるかのような説明をし、当該未納の利用料金として、電子マネーを購入して支払うよう指示していた事業者（以下「本件事業者」という。）は、実在する事業者であるNTTファイナンス株式会社や日本電信電話株式会社とは全く無関係であった（消費者を欺く行為）。
6月27日	「火災保険を使って実質的に無料で修理ができる」などと うたい、火災保険金を利用した修理工事契約を締結させる 事業者に関する注意喚起	天建と称する事業者は、消費者と消費者宅の修理工事契約を締結するに際し、あたかも、消費者宅の損傷が自然災害（雪、ひょう等）により生じたものであつて火災保険金が支払われるものであるかのように告げていたが、実際には、自然災害の認定はされず火災保険金が支払われることはなかった（不実告知）。
8月29日	人気ブランドのヘルスケア又 はオーディオ家電等を販売す ると称する偽サイトに関する 注意喚起	偽広告及び偽サイトの運営等を行う事業者（以下「本件事業者」という。）は、オムロン又はアンビーのブランドロゴを使用した偽広告及び同ロゴ又は展示会の画像等を使用した偽サイト（以下「本件偽サイト」という。）をインターネット上に公開し、これらにおいてあたかもオムロン又はアンビーの正規品を販売するかのように消費者を誤認させて商品を注文させていたが、本件事業者が本件偽サイトを通じて消費者に販売した商品は、オムロンの場合はオムロンとは関係のない商品、アンビーの場合はブランドロゴが表示されている模倣品等であった（消費者を欺く行為）。
9月30日	ウェブサイト上では適正かつ 低額な料金で駆除作業を行 うかのように表示しているが、 実際には高額な料金を請求す るゴキブリ駆除業者に関する 注意喚起	株式会社ORBITAL PERIOD（以下「本件事業者」という。）は、自宅でゴキブリを発見するなどして困っている消費者がインターネットで検索し、検索結果の上位に表示された「害虫110番」と称する本件事業者が運営するウェブサイトにおいて、「関東エリア 最安レベルに挑戦！ 追加料金一切なし！ 税込550円～」、「シンプル料金＆明朗会計」、「駆除作業の面積に応じた料金」等といった適正かつ低額な料金でゴキブリを駆除する旨を広告・表示し、これを見た消費者は、本件事業者からゴキブリの駆除作業を適正かつ低額な料金で提供してもらえるものだと認識して、ゴキブリの駆除作業を依頼していたが、実際に本件事業者が提供したゴキブリの駆除作業の実態は広告・表示の内容とは異なるものであった（虚偽・誇大な広告・表示）。
10月24日	「SNSでPR投稿をすると報酬 がもらえる」とエステサロン で勧誘する事業者に関する注 意喚起	消費者は、無料エステ体験で来店したエステサロンにおいて「SNSに広告を投稿したら月1万円の報酬がもらえる」副業（以下「本件副業」という。）を勧誘された際、あたかも、本件副業の報酬として毎月4万7千円が消費者の銀行口座に入金され、PRエージェント加盟金の分割払分として3万7千円が差し引かれた差額の1万円が消費者の収入になるかのように告げられ、株式会社ライフパートナーズと「加盟店契約」と称する契約を、株式会社NEOマーケティングと「業務委託契約」と称する契約を締結していたが、実際には、消費者に対しては、最初の数か月を除き報酬が支払われない、又は最初から全く支払われないものであった（不実告知）。
2025年 2月6日	「タスク副業」で報酬が支 払われるとうたい、実際には高 額を送金させる事業者に関する 注意喚起	Telegram等上で、「椿 ●美」等のアカウントを使用していた事業者（以下「本件事業者」という。）は、消費者が、高額な参加費用を支払う高収入タスク副業に参加すると、消費者の作業内容の誤りを指摘し、更に追加作業に要する費用として数万円から数十万円を追加送金すれば、タスクが完了して、これまで支払った参加費用は返金され、高額の報酬が支払われるなどと告げるが、消費者が支払った参加費用が返金されることも、本件事業者が提示した高額の報酬が支払われることもなかった（消費者を欺く行為）。

実施時期	件名	内 容
2月28日	通信販売サイトの返金手続を装い、〇〇ペイといったコード決済サービスを利用して、返金ではなく逆に送金させる事業者に関する注意喚起	「HKR市場店」等と称するウェブサイト（以下「本件サイト」という。）を運営するなどする事業者（以下「本件事業者」という。）は、本件サイトで消費者が注文した商品が欠品しているとして、PayPayといったコード決済サービス（以下「〇〇ペイ」という。）で商品代金を返金すると称して消費者に〇〇ペイのアプリを開かせ、消費者が〇〇ペイのアプリを開くと、消費者に対し、商品代金の返金に必要なIDの入力であるなどと〇〇ペイのアプリの操作を指示するなどし、消費者を欺き、返金ではなく、本件事業者へ送金をさせていた（消費者を欺く行為）。
3月24日	ウェブサイトでは適正かつ低額な料金でロードサービスを行うかのように表示し、実際には高額な料金を請求する事業者に関する注意喚起	大和商会及び関東バッテリートラブルセンターと称する事業者（以下「本件事業者」という。）は、スマートフォンによるインターネットの検索結果で、広告等として上位に表示された「CARお助けサービス」又は「関東バッテリートラブルセンター」と称する本件事業者が運営するウェブサイトにおいて、「基本料金 3,980円（税込）～」、「レッカー・けん引 4,400円（税込）～」、「業界最安水準で対応可能」、「基本料金7,980円 1,980円税込～」等といった適正かつ低額な料金でロードサービスが利用できる旨を広告・表示し、これを見た消費者は、ロードサービスを適正かつ低額な料金で提供してもらえるものだと認識して、ロードサービス作業を依頼していたが、実際に本件事業者が提供したロードサービス作業の実態は、適正かつ低額な料金で提供されるものではなく、広告・表示の内容とは異なるものであった（虚偽・誇大な広告・表示）。

## ○資料7-3 不当景品類及び不当表示防止法の規定に基づく消費者庁の措置命令（2024年度）

公表日	件名
2024年4月26日	エステー株式会社に対する件（花粉対策商品の効果に関する不当表示（優良誤認表示））
5月30日	株式会社那覇直葬センターに対する件（葬儀サービスの提供価格に関する不当表示（有利誤認表示））
6月7日	医療法人社団祐真会に対する件（診療サービスの口コミに関する不当表示（ステルスマーケティング告示））
7月19日	株式会社キャリカレに対する件（通信講座の提供価格に関する不当表示（有利誤認表示））
7月24日	株式会社WECARSに対する件（中古自動車の修復歴に関する不当表示（優良誤認表示））
7月30日	株式会社ファッズに対する件（居酒屋の料理の提供価格に関する不当表示（有利誤認表示））
8月7日	株式会社ジェイコムエストに対する件（家庭用の都市ガスの小売供給に関する不当表示（有利誤認表示））
8月9日	RIZAP株式会社に対する件（フィットネスジムにおける提供役務に関する不当表示（優良誤認表示及びステルスマーケティング告示））
11月13日	大正製薬株式会社に対する件（NMNのサプリメントに関する不当表示（ステルスマーケティング告示））
12月12日	自転車用ヘルメットを標ぼうする商品の販売事業者3社に対する件（自転車用ヘルメットを標ぼうする商品の安全基準等に関する不当表示（優良誤認表示））
12月17日	株式会社デザインワードに対する件（ネイル講座の授業料に関する不当表示（有利誤認表示））
2025年2月28日	長谷川産業株式会社に対する件（家具等の販売価格に関する不当表示（有利誤認表示））
3月14日	ダニの捕獲効果等を標ぼうする商品の販売事業者2社に対する件（ダニの捕獲効果等を標ぼうする商品の効果に関する不当表示（優良誤認表示））
3月18日	医療法人社団スマイルスクエアに対する件（歯列矯正の口コミに関する不当表示（ステルスマーケティング告示））
3月25日	ロート製薬株式会社に対する件（目のサプリメントに関する不当表示（ステルスマーケティング告示））
3月27日	株式会社ユニットコムに対する件（パソコンのポイント等の還元キャンペーンに関する不当表示（有利誤認表示））

## ○資料7-4 不当景品類及び不当表示防止法の規定に基づく消費者庁の課徴金納付命令（2024年度）

公表日	件名
2024年5月28日	中国電力株式会社に対する件（家庭用の電気の小売供給に関する不当表示（有利誤認表示））
8月2日	富士通クライアントコンピューティング株式会社に対する件（ノートパソコンのキャンペーン価格に関する不当表示（有利誤認表示））
12月3日	北海道電力株式会社に対する件（家庭用の電気及び都市ガスの小売供給に関する不当表示（有利誤認表示））
2025年1月28日	アドパワー・ソリューションズ株式会社に対する件（四輪車の燃費向上効果等を標ぼうする商品に関する不当表示（優良誤認表示））
1月30日	株式会社東亜産業に対する件（携帯型の空間除菌用品の効果に関する不当表示（優良誤認表示））
3月19日	さくらフォレスト株式会社に対する件（サプリメント（機能性表示食品）の高めの血圧を下げる効果等に関する不当表示（優良誤認表示））
3月21日	株式会社夢グループに対する件（マスクの販売価格等に関する不当表示（有利誤認表示））

○資料7-5 不当景品類及び不当表示防止法の規定に基づく消費者庁の確約計画の認定（2024年度）

公表日	件名
2025年 2月26日	caname株式会社から申請があった確約計画の認定（パーソナルジムの入会金に関する違反被疑行為）

○資料7-6 不当景品類及び不当表示防止法の規定に基づく消費者庁による課徴金納付命令に係る返金計画の認定（2024年度）

事業者名	対象商品・役務	返金実施期間
該当なし		

○資料7-7 特定商取引に関する法律の規定に基づく消費者庁等の業務停止命令等及び指示並びに業務禁止命令（2024年度）

実施時期	件名
2024年 4月9日	通信販売業者【株式会社オルリンクス製薬】に対する行政処分
4月18日	通信販売業者【株式会社HAL】に対する行政処分
5月22日	訪問販売業者5社に対する行政処分
8月6日	訪問販売業者【ブルーコンシャスグループ株式会社】に対する行政処分
9月4日	電話勧誘販売業者【株式会社即決営業】に対する行政処分
10月3日	通信販売業者【株式会社SUNSIRI】に対する行政処分
10月16日	通信販売業者【株式会社HappyLifeBio】に対する行政処分
10月31日	通信販売業者【株式会社マーキュリー】に対する行政処分
12月20日	通信販売業者【株式会社VERIFY】に対する行政処分
12月23日	訪問購入業者【株式会社エコプラス】に対する行政処分
2025年 1月22日	電話勧誘販売業者【株式会社ディップセル及び株式会社ウィリング】に対する行政処分
2月6日	電話勧誘販売業者【株式会社Myself】に対する行政処分
3月3日	連鎖販売業者【株式会社SEED】に対する行政処分
3月12日	訪問販売業者【金城保】に対する行政処分
3月13日	通信販売業者【株式会社フォックス】に対する行政処分
3月18日	訪問販売業者【株式会社E-Cube、株式会社新成和サポート及び株式会社AP COMPANY】に対する行政処分
3月25日	訪問販売業者【株式会社イトケン】に対する行政処分

（備考）特定商取引法の規定に基づく消費者庁等の業務停止命令等及び指示並びに業務禁止命令については、地方経済産業局等による処分を含む。

○資料7-8 預託等取引に関する法律の規定に基づく消費者庁等の取引停止命令及び措置命令並びに業務禁止命令（2024年度）

実施時期	件名
2024年 5月16日	預託等取引業者【エスアイヘリシス株式会社】に対する措置命令

○資料7-9 特定電子メールの送信の適正化等に関する法律の規定に基づく消費者庁の措置命令（2024年度）

実施時期	件名
該当なし	

○資料7-10 食品表示法の規定に基づく消費者庁の指示・命令（2024年度）

実施時期	件名
該当なし	

○資料7-11 健康増進法に基づく消費者庁の勧告（2024年度）

実施時期	件名
該当なし	

○資料7-12 消費者庁から関係機関等へ対応要求等を行ったもの（2024年度）  
(資料7-1から7-11までに該当するものを除く。)

実施時期	件名	内容
2024年6月3日	インターネットにおける健康食品等の虚偽・誇大表示に対する改善指導について	インターネットにおける健康食品等の虚偽・誇大表示のおそれのある文言を含む表示をしていた事業者に対し、表示の改善指導を行うとともに、ショッピングモール運営事業者にも協力を依頼（2024年1月～2024年3月：改善指導253件（事業者244件））。
6月7日	食品表示の適正化に向けた取組について（夏期一斉取締り）	食品衛生の監視指導の強化が求められる夏期における食品表示の適正化に向けた取組の一環として、都道府県等に対し、啓発パンフレット等を活用したカンピロバクター食中毒対策に係る周知啓発、くるみの特定原材料への追加及び特定原材料に準ずるものの取扱に係る周知啓発、いわゆる「健康食品」等の監視指導等の協力依頼等を通知。
8月29日	インターネットにおける健康食品等の虚偽・誇大表示に対する改善指導について	インターネットにおける健康食品等の虚偽・誇大表示のおそれのある文言を含む表示をしていた事業者に対し、表示の改善指導を行うとともに、ショッピングモール運営事業者にも協力を依頼（2024年4月～2024年6月：改善指導160件（事業者151件））。
9月6日	令和6年能登半島地震を受けた食品表示法に基づく食品表示基準の運用の終了について	令和6年1月3日付け発出通知令和6年能登半島地震を受けた食品表示法に基づく食品表示基準の運用について（令和6年1月3日付け発出通知）を令和6年9月30日をもって終了する旨の通知を関係自治体に発出（消費者庁・農林水産省・厚生労働省連名）。
11月6日	食品表示の適正化に向けた取組について（年末一斉取締り）	食品衛生の監視指導の強化が求められる年末における食品表示の適正化に向けた取組の一環として、都道府県等に対し、いわゆる「健康食品」の監視指導、くるみの特定原材料への追加及び特定原材料に準ずるものの取扱に係る周知啓発、経口補水液と誤認されるおそれのある表示への対応に関する周知啓発等の協力依頼等を通知。
12月13日	インターネットにおける健康食品等の虚偽・誇大表示に対する改善指導について	インターネットにおける健康食品等の虚偽・誇大表示のおそれのある文言を含む表示をしていた事業者に対し、表示の改善指導を行うとともに、ショッピングモール運営事業者にも協力を依頼（2024年7月～2024年9月：改善指導152件（事業者127件））。
2025年3月28日	インターネットにおける健康食品等の虚偽・誇大表示に対する改善指導について	インターネットにおける健康食品等の虚偽・誇大表示のおそれのある文言を含む表示をしていた事業者に対し、表示の改善指導を行うとともに、ショッピングモール運営事業者にも協力を依頼（2024年10月～2024年12月：改善指導151件（事業者133件））。

○資料7-13 消費者安全法の規定に基づく消費者安全調査委員会の報告書等（2024年度）（報告書）

公表時期	件名
2024年4月25日	スポーツジム等におけるパーソナルトレーニングによる事故及び健康被害（経過報告）
6月20日	住宅の窓及びベランダからの子どもの転落事故（経過報告）
11月27日	木造立体迷路における事故－遊園地に設置された屋外の木造大型複層遊具－（報告書・意見）

## 資料8 各種情報提供

### ○資料8-1 消費者庁が実施した安全に関する注意喚起（2024年度）

実施時期	件 名
2024年 6月5日	サウナ浴での事故に注意—体調に合わせて無理せず安全に—
6月27日	「低価格・高リスク」の非純正バッテリーに注意～建物が全焼に至った火災も～
8月27日	災害時にも活躍する携帯発電機やポータブル電源の事故と停電復旧後の通電火災に注意！
11月26日	「除雪機の事故」を招く5つのNG行動～安全機能の無効化は絶対やめて～
12月5日	リチウムイオン電池使用製品のトリセツー暖をとる製品にもリチウムイオン電池が使われています！—
12月12日	自転車用ヘルメットの安全性を示すマークについて—消費者庁が自転車用ヘルメットを標ぼうする商品に関する措置命令を実施—

(備考) 消費者安全法の規定に基づく注意喚起を除く。

### ○資料8-2 こども安全メールfrom消費者庁の配信（2024年度）

実施時期	件 名
2024年 4月11日	室内のドアの指挟み事故に注意！
4月18日	こどもがゴーカート等の乗り物体験等を安全に楽しむために
4月25日	〈コラム〉スポーツ用大型器具に関する事故—取扱いに注意しましょう—
5月23日	〈コラム〉自転車運転の際は適正なヘルメットを正しくかぶろう！
5月31日	加熱式たばこの誤飲に注意！
6月24日	〈コラム〉携帯用扇風機の扱いにはご留意を！
7月12日	安全に海を満喫するために
8月9日	線香等でのやけどに注意！
9月18日	お酒などによる誤った調乳での事故に注意
9月20日	より安全なチャイルドシートの使用を！
10月3日	〈コラム〉転倒時に湯漏れしにくい電気ケトルの使用を！
10月24日	バットやクラブ、ボールに当たりけがをする事故が発生！
11月29日	洗濯用パック型液体洗剤での事故に注意！
12月19日	〈コラム〉高齢者の事故—冬の入浴中の溺水や食物での窒息に注意—
12月25日	〈コラム〉防水スプレーの吸込み事故に注意！
2025年 1月23日	豆類などをはじめとする食品での窒息や誤嚥に注意！
2月28日	クーハンの事故—落下によるこどものけがに注意！—
3月14日	〈コラム〉スライサーの取扱い時に手をけがする事故が発生！

(備考) 「こども安全メールfrom消費者庁」の2025年3月31日現在の登録者数は約2万3,000人である。

## ○資料8-3 消費者庁が実施した表示・取引に関する情報提供（2024年度）

実施時期	件 名
2024年5月17日	違法な「販売預託商法」にご注意を！！
5月30日	SNSなどを通じた投資や副業といった「もうけ話」にご注意ください！
6月20日	LPガス料金を契約前に確認しましょう ※1
8月1日	国の行政機関が行う統計調査を装った「かたり調査」にご注意ください ※2
10月17日	その通信販売は大丈夫？ “最終確認画面”をよく確認しましょう！
11月18日	クレジットカードの不正利用にご注意ください！ ※3
12月12日	自転車用ヘルメットを標ぼうする商品に関する注意喚起について
12月20日	戸籍の振り仮名の届出に関する詐欺にご注意ください ※4
12月23日	その通信販売は大丈夫？ “最終確認画面”をよく確認しましょう！
12月24日	訪問購入のトラブルにご注意ください ※5
2025年1月16日	ネット通販の落とし穴、知って安心！定期購入トラブルの事例をチェック
1月16日	ネット通販での購入時には、最終確認画面のスクリーンショットを保存しましょう！
2月7日	甘い言葉にご用心 電話勧誘からの契約にご注意を！ ※6
2月20日	高額料金の一括前払いを行う際は、十分にご検討ください！
2月25日	そのリフォーム本当に必要ですか？ ※7
3月4日	電気・ガスの契約トラブルなどに気をつけましょう ※8
3月4日	悪質マルチ商法の罠『ネットワークビジネスで人生変わる』ってホント？ウソ？ ※9
3月14日	ネット通販の落とし穴、知って安心！定期購入トラブルの事例をチェック
3月14日	ネット通販での購入時には、最終確認画面のスクリーンショットを保存しましょう！
3月26日	「点検商法」にご用心！ ※10

(備考) 1. 消費者安全法の規定に基づく注意喚起を除く。

2. ※1は経済産業省及び国土交通省と連名にて注意喚起を実施。

※2は総務省と連名にて注意喚起を実施。

※3は日本クレジットカード協会、警察庁、総務省、経済産業省及びその他関係機関と連名にて注意喚起を実施。

※4は警察庁及び法務省と連名にて注意喚起を実施。

※5は経済産業省九州経済産業局と連名にて注意喚起を実施。

※6は経済産業省近畿経済産業局と連名にて注意喚起を実施。

※7は警察庁及び国土交通省と連名にて注意喚起を実施。

※8は経済産業省電力・ガス取引監視等委員会及び国民生活センターと連名にて注意喚起を実施。

※9は経済産業省中部経済産業局と連名にて注意喚起を実施。

※10は経済産業省九州経済産業局と連名にて注意喚起を実施。

○資料8-4 事業者自ら家庭用品品質表示法上の不適正表示があったとの申出に基づく注意喚起<sup>6</sup>（2024年度）

件 名
該当なし

6) 事業者自ら家庭用品品質表示法上の不適正表示があったとの申出に基づき、消費者への注意喚起を消費者庁ウェブサイトに掲載。

○資料8-5 食品と放射性物質に関するリスクコミュニケーション（意見交換会等）の開催実績（2024年度）

月 日	意見交換会等名称	主催（共催）	場 所
2024年 5月30日	富山西ロータリークラブ例会	福島県（消費者庁） 開催：富山西ロータリークラブ	富山県富山市
6月24日	総合的な「探究」の時間	福島県（消費者庁） 開催：常翔啓光学園高校	大阪府枚方市
6月25日	食と放射能に関する説明会	福島県（消費者庁） 開催：たんぽぽ保育園	福島県田村市
6月29日	「ふくしまの食の風評被害をなくすために～私たちにできること～」学習会	福島県（消費者庁） 開催：公益社団法人全国消費生活相談員協会「ふくしまの食相談センター」	東京都中央区
7月2日	食と放射能に関する説明会	福島県（消費者庁） 開催：郡山市立永盛小学校2年生	福島県郡山市
7月2日	食と放射能に関する説明会	福島県（消費者庁） 開催：郡山市立永盛小学校1年生	福島県郡山市
7月3日	つなぐ福島（選択授業科目）	福島県（消費者庁） 開催：学校法人山口学園 ECC国際外語専門学校	大阪府大阪市
7月4日	震災学習（ロングホームルーム）	福島県（消費者庁） 開催：四天王寺東中学校	大阪府藤井寺市
7月4日	食と放射能に関する説明会	福島県（消費者庁） 開催：郡山市立永盛小学校5年生	福島県郡山市
7月4日	食と放射能に関する説明会	福島県（消費者庁） 開催：郡山市立永盛小学校6年生	福島県郡山市
7月10日	食と放射能に関する説明会	福島県（消費者庁） 開催：郡山市立永盛小学校3年生	福島県郡山市
7月10日	食と放射能に関する説明会	福島県（消費者庁） 開催：郡山市立永盛小学校4年生	福島県郡山市
7月18日	大宮開成中学高等学校一貫部 特別講演 「ふくしまの今を語る人」	福島県（消費者庁） 開催：大宮開成中学高等学校	埼玉県さいたま市
8月3日～ 8月4日	みやぎ元気まつり2024	消費者庁、内閣府食品安全委員会、厚生労働省、農林水産省（経済産業省）	宮城県仙台市
8月7日	ふくしまの今を語る人講演会	福島県（消費者庁） 開催：NPO法人チーム福島	京都府宇治市
8月24日	食と放射能に関する説明会	福島県（消費者庁） 開催：東日本大震災・原子力災害伝承館	福島県双葉郡 双葉町
8月26日	食と放射能に関する説明会	福島県（消費者庁） 開催：東日本大震災・原子力災害伝承館	福島県双葉郡 双葉町
8月29日	静岡県消費者団体連盟研修会	福島県（消費者庁） 開催：静岡県消費者団体連盟	静岡県静岡市
8月29日～ 8月30日	「モニターツアー」食と放射能に関する消費者交流事業（桃の旅）	福島県（消費者庁）	福島県 福島市ほか
9月2日	産業社会と人間「東日本大震災を超えてできる事。今までとこれから」	福島県（消費者庁） 開催：飯塚高等学校	福岡県飯塚市
9月7日	「交流イベント」食と放射能に関する消費者交流事業in新潟	福島県（消費者庁）	新潟県新潟市
9月18日	食品中の放射性物質～今と未来への歩み～（純真学園大学）	消費者庁、内閣府食品安全委員会、厚生労働省、農林水産省（経済産業省、純真学園大学）	福岡県福岡市
9月21日	食と放射能に関する説明会	福島県（消費者庁） 開催：おおくまちの明日を考える会	福島県郡山市
9月28日～ 9月29日	「モニターツアー」食と放射能に関する消費者交流事業（米の旅）	福島県（消費者庁）	福島県安達郡 大玉村ほか
10月1日	食品中の放射性物質～今と未来への歩み～（東日本国際大学）	消費者庁、内閣府食品安全委員会、厚生労働省、農林水産省（経済産業省、東日本国際大学）	福島県いわき市

月 日	意見交換会等名称	主催 (共催)	場 所
10月 2 日	食と放射能に関する説明会	福島県（消費者庁） 開催：会津坂下町立坂下中学校 1年生	福島県河沼郡 会津坂下町
10月 2 日	食と放射能に関する説明会	福島県（消費者庁） 開催：会津坂下町立坂下中学校 2年生	福島県河沼郡 会津坂下町
10月 3 日	食と放射能に関する説明会	福島県（消費者庁） 開催：会津坂下町立坂下中学校 3年生	福島県河沼郡 会津坂下町
10月 5 日	2024年度福祉研修会	福島県（消費者庁） 開催：大分県労働者福祉協議会	大分県大分市
10月 8 日～ 10月 9 日	「モニターツアー」食と放射能に関する消費者交流事業（トマトの旅）	福島県（消費者庁）	福島県いわき市 ほか
10月 9 日	食と放射能に関する説明会	福島県（消費者庁） 開催：矢吹町立善郷小学校 5年1組	福島県西白河郡 矢吹町
10月 9 日	食と放射能に関する説明会	福島県（消費者庁） 開催：矢吹町立善郷小学校 5年2組	福島県西白河郡 矢吹町
10月11日	食品中の放射性物質～今と未来への歩み～（立命館大学）	消費者庁、内閣府食品安全委員会、厚生労働省、農林水産省（経済産業省、立命館大学）	滋賀県草津市
10月12日	「交流イベント」食と放射能に関する消費者交流事業in宮城	福島県（消費者庁）	宮城県仙台市
10月16日	淑徳大学地域創生学部授業科目「資源論」	福島県（消費者庁） 開催：淑徳大学地域創生学部高木研究室	埼玉県入間郡
10月16日	食と放射能に関する説明会	福島県（消費者庁） 開催：矢吹町立善郷小学校 3年生	福島県西白河郡 矢吹町
10月18日	食と放射能に関する説明会	福島県（消費者庁） 開催：郡山市立明健小学校 3年1組	福島県郡山市
10月18日	食と放射能に関する説明会	福島県（消費者庁） 開催：郡山市立明健小学校 3年2組	福島県郡山市
10月24日	食品中の放射性物質～今と未来への歩み～（東京農業大学）	消費者庁、内閣府食品安全委員会、厚生労働省、農林水産省（経済産業省、東京農業大学）	東京都世田谷区
10月25日～ 10月27日	GOOD LIFE フェア2024	消費者庁、内閣府食品安全委員会、厚生労働省、農林水産省（経済産業省）	東京都江東区
10月29日	福島の食と安心安全の取組について	福島県（消費者庁） 開催：四條畷市消費生活センター	大阪府四條畷市
10月30日	福島の食と安心安全の取組について	福島県（消費者庁） 開催：四條畷市消費生活センター	大阪府四條畷市
10月31日	京丹後市消費生活セミナー	福島県（消費者庁） 開催：京丹後市消費生活センター	京都府京丹後市
11月 5 日	食と放射能に関する説明会	福島県（消費者庁） 開催：郡山市立行健小学校 6年3組	福島県郡山市
11月 5 日	食と放射能に関する説明会	福島県（消費者庁） 開催：郡山市立行健小学校 6年2組	福島県郡山市
11月 5 日	食と放射能に関する説明会	福島県（消費者庁） 開催：郡山市立行健小学校 6年1組	福島県郡山市
11月 7 日	震災後の福島の復興状況等	福島県（消費者庁） 開催：愛知県労働者福祉協議会	愛知県春日井市
11月 9 日～ 11月10日	みらいのたからばこ2024 in大阪	消費者庁、内閣府食品安全委員会、厚生労働省、農林水産省（経済産業省）	大阪府大阪市
11月11日	学年集会	福島県（消費者庁） 開催：大阪市立大正西中学校	大阪府大阪市
11月12日	食と放射能に関する説明会	福島県（消費者庁） 開催：矢吹町立善郷小学校 1年1組	福島県西白河郡 矢吹町
11月12日	食と放射能に関する説明会	福島県（消費者庁） 開催：矢吹町立善郷小学校 1年2組	福島県西白河郡 矢吹町

月 日	意見交換会等名称	主催（共催）	場 所
11月12日	食と放射能に関する説明会	福島県（消費者庁） 開催：矢吹町立善郷小学校 1年3組	福島県西白河郡 矢吹町
11月15日	「交流イベント」食と放射能に関する消費者交流事業in東京（第1回）	福島県（消費者庁）	東京都千代田区
11月15日	食と放射能に関する説明会	福島県（消費者庁） 開催：矢吹町立善郷小学校 4年1組	福島県西白河郡 矢吹町
11月15日	食と放射能に関する説明会	福島県（消費者庁） 開催：矢吹町立善郷小学校 4年2組	福島県西白河郡 矢吹町
11月16日	福島・飯館村復興フォーラムin八戸	福島県（消費者庁） 開催：労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団	青森県八戸市
11月16日	「交流イベント」食と放射能に関する消費者交流事業in東京（第2回）	福島県（消費者庁）	東京都千代田区
11月18日	食品中の放射性物質～今と未来への歩み～（東京会場）	消費者庁、内閣府食品安全委員会、厚生労働省、農林水産省（経済産業省）	東京都中央区
11月20日	令和6年度甲府市食品リスクコミュニケーション講演	福島県（消費者庁） 開催：甲府市	山梨県甲府市
11月20日	全校集会	福島県（消費者庁） 開催：川西市立東谷中学校	兵庫県川西市
11月21日	食と放射能に関する説明会	福島県（消費者庁） 開催：矢吹町立善郷小学校 6年1組	福島県西白河郡 矢吹町
11月21日	食と放射能に関する説明会	福島県（消費者庁） 開催：矢吹町立善郷小学校 6年2組	福島県西白河郡 矢吹町
11月21日	食と放射能に関する説明会	福島県（消費者庁） 開催：矢吹町立善郷小学校 6年3組	福島県西白河郡 矢吹町
11月25日	福島ひまわり里親プロジェクト報告会	福島県（消費者庁） 開催：長野ひまわり甲子園実行委員会	長野県千曲市
11月25日	食と放射能に関する説明会	福島県（消費者庁） 開催：須賀川市立義務教育学校稻田学園 5年生	福島県須賀川市
11月25日	食と放射能に関する説明会	福島県（消費者庁） 開催：須賀川市立義務教育学校稻田学園 6年生	福島県須賀川市
11月25日	食品中の放射性物質～今と未来への歩み～（大阪会場）	消費者庁、内閣府食品安全委員会、厚生労働省、農林水産省（経済産業省）	大阪府大阪市
11月26日	食と放射能に関する説明会	福島県（消費者庁） 開催：須賀川市立義務教育学校稻田学園 7年生	福島県須賀川市
11月26日	食と放射能に関する説明会	福島県（消費者庁） 開催：須賀川市立義務教育学校稻田学園 8年生	福島県須賀川市
11月26日	食と放射能に関する説明会	福島県（消費者庁） 開催：須賀川市立義務教育学校稻田学園 9年生	福島県須賀川市
11月26日	座談会 食品中の放射性物質～今と未来への歩み～	消費者庁	東京都千代田区
11月30日	「交流イベント」食と放射能に関する消費者交流事業in郡山	福島県（消費者庁）	福島県郡山市
12月2日	防災講和	福島県（消費者庁） 開催：大阪市立花乃井中学校	大阪府大阪市
12月3日	「ふくしまの今を語る人」生産者の声を聴こう	福島県（消費者庁） 開催：浜松市消費者団体連絡会	静岡県浜松市
12月4日	食と放射能に関する説明会	福島県（消費者庁） 開催：磐梯町立磐梯中学校 1年生	福島県耶麻郡 磐梯町

月 日	意見交換会等名称	主催 (共催)	場 所
12月 4日	食と放射能に関する説明会	福島県（消費者庁） 開催：磐梯町立磐梯中学校 2年生	福島県耶麻郡 磐梯町
12月 4日	食と放射能に関する説明会	福島県（消費者庁） 開催：磐梯町立磐梯中学校 3年生	福島県耶麻郡 磐梯町
12月 9日	食と放射能に関する説明会	福島県（消費者庁） 開催：福島県地球温暖化防止活動推進員の会	福島県福島市
12月10日	群馬県生協連災害対策協議会	福島県（消費者庁） 開催：群馬県生活協同組合連合会	群馬県前橋市
12月13日	食品中の放射性物質～今と未来への歩み～（北陸大学）	消費者庁、内閣府食品安全委員会、厚生労働省、農林水産省、北陸大学（経済産業省）	石川県金沢市
12月16日	令和6年度第一学年震災学習	福島県（消費者庁） 開催：吹田市立第一中学校	大阪府吹田市
12月20日	大阪市消費者センター エルちゃんのわん デー講座	福島県（消費者庁） 開催：大阪市消費者センター	大阪府大阪市
12月20日	食と放射能に関する説明会～12市町村座談会～inジョワイストロナミエ（浪江町①）	福島県（消費者庁）	福島県双葉郡 浪江町
2025年 1月10日	福島の災害後の取り組み	福島県（消費者庁） 開催：鎌倉市立手広中学校	神奈川県鎌倉市
1月13日	食と放射能に関する説明会 ～12市町村座談会～in linkる大熊（大熊町）	福島県（消費者庁）	福島県双葉郡 大熊町
1月14日	ふくしまの食の安全の取り組みを知る学習会	福島県（消費者庁） 開催：東京都生活協同組合連合会	東京都中野区
1月14日	食と放射能に関する説明会	福島県（消費者庁） 開催：公立大学法人会津大学短期大学部食 物栄養学科	福島県会津若松市
1月16日	「ふくしまの今を語る人」講演会	福島県（消費者庁） 開催：森町消費者クラブ	静岡県周智郡森町
1月16日	「ふくしまの今を語る人」講演会	福島県（消費者庁） 開催：東海大学付属大阪仰星高等学校・中 等部1年生	大阪府枚方市
1月17日	食と放射能に関する説明会	福島県（消費者庁） 開催：(株) クレハ環境	福島県いわき市
1月18日～ 1月19日	「ふくしまの今を語る人」をめぐり「福島 の今を知る」1泊2日ツアー	福島県（消費者庁） 開催：福島県	福島県いわき市 ほか
1月18日～ 1月19日	「モニターツアー」食と放射能に関する消 費者交流事業（首都圏大学生タイアップ企 画）	福島県（消費者庁）	福島県南相馬市 ほか
1月18日	食と放射能に関する説明会～12市町村座談 会～in交流センターふれ愛館（飯館村）	福島県（消費者庁）	福島県相馬郡 飯館村
1月18日	食と放射能に関する説明会	福島県（消費者庁） 開催：たんぽぽ保育園 1号車	福島県田村市
1月18日	食と放射能に関する説明会	福島県（消費者庁） 開催：たんぽぽ保育園 2号車	福島県田村市
1月19日	飯館村の農業・土づくりのトーク会「忘 れていよいよふくしま」恒例の震災支援イベ ント企画	福島県（消費者庁） 開催：2025震災支援イベント「忘れていな いよふくしま」実行委員会	東京都日野市
1月19日	食と放射能に関する説明会～12市町村座談 会～inニュー新川（川俣町）	福島県（消費者庁）	福島県伊達郡 川俣町
1月20日	学年集会	福島県（消費者庁） 開催：大阪市立蒲生中学校	大阪府大阪市
1月20日	食と放射能に関する説明会	福島県（消費者庁） 開催：喜多方市中央公民館	福島県喜多方市
1月20日	食と放射能に関する説明会	福島県（消費者庁） 開催：いわき語り部の会	福島県いわき市

月 日	意見交換会等名称	主催 (共催)	場 所
1月22日	学年集会	福島県 (消費者庁) 開催: 松原市立松原第五中学校	大阪府松原市
1月22日	食と放射能に関する説明会	福島県 (消費者庁) 開催: 福島観光自動車 (株)	福島県郡山市
1月23日	「ふくしまの今を語る人」講演会	福島県 (消費者庁) 開催: 東海大学付属大阪仰星高等学校・中等部3年生	大阪府枚方市
1月25日～ 1月26日	「ふくしまの今を語る人」をめぐり「福島の今を知る」1泊2日ツアー	福島県 (消費者庁) 開催: 福島県	福島県相馬郡 飯館村ほか
1月27日	学年集会	福島県 (消費者庁) 開催: 関西大学中等部1年	大阪府高槻市
1月27日	食と放射能に関する説明会	福島県 (消費者庁) 開催: 福島観光自動車 (株)	福島県郡山市
1月28日	食と放射能に関する説明会	福島県 (消費者庁) 開催: 福島大学 食農学類	福島県福島市
1月28日	食と放射能に関する説明会	福島県 (消費者庁) 開催: 福島大学 経済経営学類	福島県福島市
1月29日	食と放射能に関する説明会	福島県 (消費者庁) 開催: 郡山市立明健小学校4年1組	福島県郡山市
1月29日	食と放射能に関する説明会	福島県 (消費者庁) 開催: 郡山市立明健小学校4年2組	福島県郡山市
1月30日	福島の食と安全の取り組みを知る会	福島県 (消費者庁) 開催: アクトインディ株式会社	東京都港区
1月30日	食と放射能に関する説明会	福島県 (消費者庁) 開催: 福島大学	福島県福島市
2月1日～ 2月2日	「ふくしまの今を語る人」をめぐり「福島の今を知る」1泊2日ツアー	福島県 (消費者庁) 開催: 福島県	福島県東白川郡 矢祭町ほか
2月1日	食と放射能に関する説明会～12市町村座談会～in和坐-waza- (浪江町②)	福島県 (消費者庁)	福島県双葉郡 浪江町
2月4日	道徳の時間での講話	福島県 (消費者庁) 開催: 大阪市立城陽中学校	大阪府大阪市
2月5日	ふくしまの今を知る (東日本大震災からのあゆみ)	福島県 (消費者庁) 開催: 大阪市立東我孫子中学校	大阪府大阪市
2月5日～ 2月7日	「ふくしまの今を語る人」をめぐり「福島の今を知る」2泊3日ツアー	福島県 (消費者庁) 開催: 福島県	福島県須賀川市 ほか
2月5日	食と放射能に関する説明会	福島県 (消費者庁) 開催: 福島交通 (株)	福島県福島市
2月6日	震災と被災された方が歩んできた復興、いのちについて考える	福島県 (消費者庁) 開催: 鹿児島県立古仁屋高等学校	鹿児島県大島郡 瀬戸内町
2月7日	秀明大学観光ビジネス学部講義「エコツーリズム」	福島県 (消費者庁) 開催: 秀明大学 観光ビジネス学部	千葉県八千代市
2月10日	2025年度修学旅行事前学習	福島県 (消費者庁) 開催: 横須賀市立大津中学校	神奈川県横須賀市
2月10日	平和学習	福島県 (消費者庁) 開催: 横浜市立舞岡中学校	神奈川県横浜市
2月12日	福島の今を知る (農業・果樹・民泊・6次化)	福島県 (消費者庁) 開催: 株式会社アグリガーデンスクール &アカデミー福岡本校	福岡県朝倉市
2月13日	食と放射能に関する説明会	福島県 (消費者庁) 開催: 桜の聖母学院小学校4年生	福島県福島市
2月17日	食と放射能に関する説明会	福島県 (消費者庁) 開催: 飯館くらしの会	福島県相馬郡 飯館村
2月28日	食と放射能に関する説明会	福島県 (消費者庁) 開催: 福島市立笹谷幼稚園	福島県福島市

月 日	意見交換会等名称	主催 (共催)	場 所
3月6日	食と放射能に関する説明会	福島県（消費者庁） 開催：桜の聖母学院小学校 1号車	福島県福島市
3月6日	食と放射能に関する説明会	福島県（消費者庁） 開催：桜の聖母学院小学校 2号車	福島県福島市
3月7日	食と放射能に関する説明会	福島県（消費者庁） 開催：郡山消費者力の会	福島県郡山市
3月11日	食と放射能に関する説明会	福島県（消費者庁） 開催：矢吹町立善郷小学校 2年1組	福島県西白河郡 矢吹町
3月11日	食と放射能に関する説明会	福島県（消費者庁） 開催：矢吹町立善郷小学校 2年2組	福島県西白河郡 矢吹町
3月11日	食と放射能に関する説明会	福島県（消費者庁） 開催：矢吹町立善郷小学校 2年3組	福島県西白河郡 矢吹町

## 資料9 国民生活センターによる情報提供（2024年度）

実施時期	件 名
2024年 4月23日	ネット検索で見つけたロードサービスのトラブル
4月24日	覚えのない未納料金を請求する詐欺に注意！—請求に応じない！電子マネー番号を伝えない！—
4月24日	ネットの価格と全然違う！？害虫・害獣駆除のトラブルにご注意—若い年代でトラブル急増中！—
5月22日	アームリング付き浮き具による子どもの溺水事故が発生！—浮き具をつけても安心しないで—
5月28日	18歳・19歳の消費生活相談の状況—2023年度—
5月29日	自転車後部に同乗中の子どもの事故に注意！—障害物と接触して大腿骨を骨折する事故も—
5月29日	会員登録時に注意！意図せず別サイトに誘導され、サブスク契約してしまうトラブル —その「スタート」ボタン、実は海外事業者の広告かも！？—
5月29日	SNSをきっかけとして、著名人を名乗る、つながりがあるなどと勧誘される金融商品・サービスの消費者トラブルが急増—いったん振込してしまうと、被害回復が困難です！—
6月18日	車を売る際は要注意！中古車の売却トラブル
6月19日	「本革巻」と表示されていた自動車のハンドル（相談解決のためのテストからNo.186）
6月19日	瞬間接着剤の使用によるやけどに注意—つけ爪用接着剤にも使用されています—
6月26日	そのサイト、大丈夫？ネット通販で商品を購入する前に確認を！ —「悪質通販サイト情報」を公表します—
7月10日	国民生活センターADRの実施状況と結果概要について（令和6年度第1回）
7月31日	子どものボタン電池の誤飲事故に気をつけましょう！ —電池の放電によるアルカリで消化管が損傷します—
7月31日	国民生活センターと日本通信販売協会の名称を悪用する〇〇ペイ返金詐欺業者にご注意ください※
7月31日	引き続き返金詐欺に注意！「〇〇ペイで返金します」と言われたら詐欺を疑って！
7月31日	「セルフエステ」の契約トラブルに注意！ —特に「セルフホワイトニング」に関する相談が増えています—
8月1日	回転させる玩具を使用中に、破片が飛び目を負傷した事故が発生 —当該品をお持ちの方は、使用を中止してください—
8月7日	相談解決のためのテスト実施状況（2024年度第1四半期）
8月7日	2023年度 訪日観光客消費者相談の状況—訪日観光客消費者ホットラインより—
8月7日	2023年度 越境消費者相談の状況—越境消費者センター（CCJ）より—
8月7日	2023年度 全国の消費生活相談の状況—PI0-NETより—
8月7日	国民生活センターをかたるニセの電話やハガキにご注意ください —国民生活センターが個人情報の削除をしたり、消費者にハガキを送ることはありません—
8月7日	ヘアアイロンによる子どものやけどに注意！
8月21日	刈払機（草刈機）の作業中の事故に注意！
8月30日	地震に便乗した詐欺的トラブルにご注意ください！—義援金を集めると不審メールなどに注意！—
9月4日	スキマ時間に気軽に稼げる等とうたう副業トラブル！ —簡単なタスクを行う副業でお金を払う？？詐欺に騙されないで—
9月11日	2023年度 全国の危害・危険情報の状況—PI0-NETより—
9月13日	65歳以上の消費生活相談の状況
9月18日	エンジンが故障した刈払機（相談解決のためのテストからNo.187）
9月18日	きっかけは訪問購入？犯罪まがいの深刻なトラブルにご注意を！ —大切な貴金属が持ち去られたなどの事例が寄せられています—
10月9日	国民生活センターADRの実施状況と結果概要について（令和6年度第2回）
10月30日	相談解決のためのテスト実施状況（2024年度第2四半期）
10月30日	内容器が破損した二重構造のガラス製ジョッキ（相談解決のためのテストからNo.188）
10月30日	庫内底面のガラスが破損したオーブンレンジ（相談解決のためのテストからNo.189）
10月30日	走行中にフレームが破損した折りたたみ自転車 —当該品をお持ちの方は使用を中止し、事業者にお問い合わせください—
11月6日	インターネットで注文する食事宅配に関する消費者トラブル—便利に使うために気を付けたいこと—
11月6日	ウォーターサーバーの勧誘トラブルにご注意！—その契約、レンタルですか？購入ですか？—

実施時期	件 名
11月 8 日	海産物の購入を強引に勧める電話に注意！ —断っているにもかかわらず商品を送り付けられてきたという事例も—
11月19日	そのメール、フィッシング詐欺！
11月19日	【広告より高額！？】出張解錠サービスの料金トラブルに注意
11月20日	今から考えておきたい「デジタル終活」 —スマホの中の“見えない契約”で遺された家族が困らないために—
12月 6 日	取っ手が破損した圧力鍋（相談解決のためのテストからNo. 190）
12月 6 日	日時がリセットされるドライブレコーダー（相談解決のためのテストからNo. 191）
12月 6 日	電気・ガスの契約トラブルにご注意！ —若年層は訪問販売、それ以外の年代は電話勧誘販売の相談が見られます—
12月11日	毛皮ではない「ムートン」が使用されていたベッドパッド（相談解決のためのテストからNo. 192）
12月11日	消費者問題に関する2024年の10大項目
12月11日	商品が届かない…！返金してもらえない…！悪質通販サイトを巡るトラブルにご注意
12月19日	「2時間後に電話が使えない！？」個人情報を聞き出す不審な電話にご注意！
12月20日	国民生活センターADRの実施状況と結果概要について（令和6年度第3回）
12月20日	球形のチーズによる子どもの窒息に注意！—1歳児の死亡事故が発生しました—
12月25日	海外事業者の鉄サプリメントの長期使用により鉄過剰症を発症
2025年 1月15日	「分電盤の点検に行きます」の電話から始まる勧誘に注意—2024年度に急増しています—
1月31日	相談解決のためのテスト実施状況（2024年度第3四半期）
1月31日	「能登半島地震関連消費者ホットライン」開設後1年間のまとめ
1月31日	「定期縛りなし」が「解約するまで続く定期購入」だったなんて…！
2月21日	賃貸住宅退去時トラブルの対処法—入居時からできる対策—
2月28日	温風が出なくなった電気温風機（相談解決のためのテストからNo. 193）
2月28日	走行中に前車輪が外れたクイックリースハブ仕様の自転車（相談解決のためのテストからNo. 194）
2月28日	ハウスクリーニングのトラブルにご注意
3月 4 日	【広告の格安料金に要注意！】作業後に高額請求する害虫駆除トラブル
3月 5 日	「未成年者の消費者トラブルについての現況調査」調査報告〈結果・概要〉
3月11日	“無料”セミナーだけのつもりが…高額な就活サポート契約にご注意！
3月18日	便利な旅行予約サイトでトラブルに！？トラブル防止のための旅行予約サイトのチェックポイント
3月19日	抱っこひもからの子どもの落下に注意！ —生後数カ月の子どもが頭蓋内損傷などの重篤なのがを負っています—
3月19日	坂道や道路でのペダルなし二輪遊具の事故に注意！
3月26日	国民生活センターADRの実施状況と結果概要について（令和6年度第4回）
3月26日	海外の安全基準への適合をうたう自転車用ヘルメット
3月28日	レンタカーでの傷トラブルにご用心—記録、確認、連絡！—

(備考) ※公益社団法人日本通信販売協会と連名で情報提供を実施。

## 資料10 地方消費者行政の現況

### ○資料10-1 法執行の実施状況（件数）

	都道府県				政令市				合計			
	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
景品表示法*	774	718	791	692	10	0	3	11	784	718	794	703
合理的根拠の提出要求	0	2	3	2	0	0	0	0	0	2	3	2
措置命令*	7	4	6	3	1	0	0	0	8	4	6	3
その他行政指導	767	712	782	687	9	0	3	11	776	712	785	698
食品衛生法	88	80	112	139	65	32	46	45	153	112	158	184
物品廃棄命令	9	8	8	18	3	0	4	0	12	8	12	18
営業停止命令	58	59	89	90	53	20	32	25	111	79	121	115
営業禁止命令	21	13	15	31	9	12	10	20	30	25	25	51
営業許可取消命令	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
健康増進法 収去	1	0	2	9	0	0	0	0	1	0	2	9
米トレーサビリティ法	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
勧告	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
命令	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
食品表示法	12,607	14,577	13,308	13,630	3,704	4,396	5,392	5,695	16,311	18,973	18,700	19,325
指示	38	55	12	6	0	2	0	1	38	57	12	7
命令（法第6条第5項）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
命令（法第6条第8項）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
収去	12,569	14,522	13,296	13,624	3,704	4,394	5,392	5,694	16,273	18,916	18,688	19,318
家庭用品品質表示法	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
指示	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
公表	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定商取引法*	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
指示*	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
業務停止命令*	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
業務禁止命令	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
割賦販売法	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0
改善命令	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0
業務停止命令	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
許可・登録取消	0	0	—	—	0	0	—	—	0	0	—	—
貸金業法	4	3	3	3	0	0	0	0	4	3	3	3
業務改善命令	1	2	1	2	0	0	0	0	1	2	1	2
業務停止命令	3	1	1	1	0	0	0	0	3	1	1	1
登録取消	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
旅行業法	21	9	2	12	0	0	0	0	21	9	2	12
業務改善命令	2	0	0	3	0	0	0	0	2	0	0	3
業務停止命令	18	5	2	7	0	0	0	0	18	5	2	7
登録取消	1	4	0	2	0	0	0	0	1	4	0	2
宅建業法	158	144	129	156	0	0	0	0	158	144	129	156
指示	30	38	30	35	0	0	0	0	30	38	30	35
業務停止命令	18	25	39	34	0	0	0	0	18	25	39	34
免許取消	110	81	60	87	0	0	0	0	110	81	60	87
消費生活関係条例	345	299	297	329	26	20	19	21	371	319	316	350
指導	328	285	288	321	19	15	14	19	347	300	302	340
勧告	9	6	5	4	6	4	3	2	15	10	8	6
公表	8	7	3	2	1	1	2	0	9	8	5	2
禁止命令	0	1	1	2	0	0	0	0	1	1	1	2

(備考) 1. 消費者庁「地方消費者行政の現況調査」により作成。ただし、「\*」については、別途集計による件数。

2. 「-」は調査していない項目。

## ○資料10-2 都道府県、政令市、市区町村等の消費者行政予算（狭義）の合計と自主財源の割合

都道府県名	2024年度			自主財源の割合
	合計 (千円)	自主財源 (千円)	基金及び交付金 (千円)	
北海道	759,162	563,671	195,491	74.2%
青森県	207,117	181,207	25,910	87.5%
岩手県	395,968	361,169	34,799	91.2%
宮城県	296,818	260,905	35,913	87.9%
秋田県	132,754	109,222	23,532	82.3%
山形県	171,398	143,722	27,676	83.9%
福島県	400,528	205,955	194,573	51.4%
茨城県	431,620	397,690	33,930	92.1%
栃木県	306,658	253,499	53,159	82.7%
群馬県	269,673	248,058	21,615	92.0%
埼玉県	862,874	730,976	131,898	84.7%
千葉県	710,013	650,111	59,902	91.6%
東京都	2,532,919	2,404,771	128,148	94.9%
神奈川県	874,782	709,233	165,549	81.1%
新潟県	227,480	165,687	61,793	72.8%
富山県	148,436	138,186	10,250	93.1%
石川県	180,930	153,447	27,483	84.8%
福井県	119,493	102,424	17,069	85.7%
山梨県	176,030	147,561	28,469	83.8%
長野県	242,987	185,582	57,405	76.4%
岐阜県	181,640	159,640	22,000	87.9%
静岡県	392,499	333,441	59,058	85.0%
愛知県	600,278	442,641	157,637	73.7%
三重県	170,437	138,302	32,135	81.1%
滋賀県	201,932	184,410	17,522	91.3%
京都府	290,240	234,854	55,386	80.9%
大阪府	1,044,516	912,780	131,736	87.4%
兵庫県	642,219	488,534	153,685	76.1%
奈良県	188,673	159,257	29,416	84.4%
和歌山県	167,929	135,649	32,280	80.8%
鳥取県	126,271	114,876	11,395	91.0%
島根県	108,375	89,698	18,677	82.8%
岡山県	258,904	221,856	37,048	85.7%
広島県	345,374	290,813	54,561	84.2%
山口県	179,902	136,353	43,549	75.8%
徳島県	384,674	305,087	79,587	79.3%
香川県	86,716	83,220	3,496	96.0%
愛媛県	132,061	114,005	18,056	86.3%
高知県	117,523	95,713	21,810	81.4%
福岡県	542,713	466,103	76,610	85.9%
佐賀県	128,818	115,391	13,427	89.6%
長崎県	242,545	196,326	46,219	80.9%
熊本県	234,342	167,627	66,715	71.5%
大分県	191,750	155,578	36,172	81.1%
宮崎県	221,416	155,917	65,499	70.4%
鹿児島県	221,014	195,418	25,596	88.4%
沖縄県	162,972	137,693	25,279	84.5%
合計	17,013,373	14,344,258	2,669,115	84.3%

（備考） 1. 消費者庁「地方消費者行政の現況調査」により作成。

2. 2024年度は当初予算。

3. 広域連合及び一部事務組合を含む。

4. 2014年度の補正予算以降、地方消費者行政活性化交付金（基金）から地方消費者行政推進交付金へ移行し、さらに2018年度の当初予算以降、地方消費者行政強化交付金へ移行している（基金は2020年度で終了）。

○資料10-3 消費者行政専管担当部署設置率

都道府県名	2024年度	都道府県名	2024年度	都道府県名	2024年度
北海道	15.0%	石川県	14.3%	岡山県	14.3%
青森県	19.5%	福井県	61.1%	広島県	29.2%
岩手県	14.7%	山梨県	21.4%	山口県	40.0%
宮城県	11.1%	長野県	20.5%	徳島県	12.0%
秋田県	26.9%	岐阜県	20.5%	香川県	11.1%
山形県	19.4%	静岡県	19.4%	愛媛県	23.8%
福島県	15.0%	愛知県	12.5%	高知県	11.1%
茨城県	26.7%	三重県	9.7%	福岡県	18.0%
栃木県	11.5%	滋賀県	45.0%	佐賀県	28.6%
群馬県	27.0%	京都府	14.3%	長崎県	31.8%
埼玉県	20.3%	大阪府	34.1%	熊本県	23.9%
千葉県	36.4%	兵庫県	42.9%	大分県	26.3%
東京都	55.6%	奈良県	5.0%	宮崎県	11.1%
神奈川県	41.2%	和歌山県	29.0%	鹿児島県	18.2%
新潟県	25.8%	鳥取県	9.5%	沖縄県	11.9%
富山県	18.8%	島根県	25.0%	合計	22.3%

(備考) 消費者庁「地方消費者行政の現況調査」により作成。

○資料10-4 消費者行政担当事務職員数

年度	専任	兼務	計(人)	専任率
2009年度	1,494	3,696	5,190	28.8%
2010年度	1,570	3,656	5,226	30.0%
2011年度	1,588	3,592	5,180	30.7%
2012年度	1,560	3,622	5,182	30.1%
2013年度	1,528	3,630	5,158	29.6%
2014年度	1,531	3,669	5,200	29.4%
2015年度	1,497	3,686	5,183	28.9%
2016年度	1,489	3,741	5,230	28.5%
2017年度	1,478	3,777	5,255	28.1%
2018年度	1,440	3,769	5,209	27.6%
2019年度	1,413	3,800	5,213	27.1%
2020年度	1,389	3,780	5,169	26.9%
2021年度	1,356	3,808	5,164	26.3%
2022年度	1,342	3,824	5,166	26.0%
2023年度	1,362	3,799	5,161	26.4%
2024年度	1,335	3,799	5,134	26.0%

(備考) 消費者庁「地方消費者行政の現況調査」により作成。

## ○資料10-5 「地方消費者行政強化作戦2020」 都道府県別達成状況一覧

政策目標 1 (人口カ バー率 90%以上)	政策目標 2-1 (人口カ バー率 90%以上)	政策目標 2-2 (75%以上)	政策目標 2-3 (各年度 100%)	政策目標 2-4 (配置)	政策目標 3-4 (配置)	政策目標 3-5 (都道府県内の政 令市及び中核市の 対応済みの割合 50%以上)	政策目標 3-6 (75%以上)	政策目標 4-1 (50%以上)	政策目標 4-2 (50%以上)	政策目標 7-2 (80%以上)		
都道 府県	センター カバー率	相談員 カバー率	相談員 資格 保有率	相談員 研修 参加率	指定消費 生活相談員 配置状況	消費者教育 コーディ ネーター 配置状況 (都道府県)	消費者教育 推進地域協 議会の設置 (政令市、 中核市)	講習等 (出 前講座を含 む) の実施 自治体割合	消費者安全 確保地域協 議会設置人 口カバー率	消費生活協 力員又は消 費生活セン ターの全事 務職員の研 修参加率		
北海道	92.1%	95.7%	43.5%	83.2%	○	○	○	○	23.5%	12.3%	39.5%	20.4%
青森県	100.0%	100.0%	71.4%	96.4%	○	○			17.5%	60.8%	3.7%	37.5%
岩手県	100.0%	100.0%	62.2%	97.7%		○			33.3%	2.2%	2.2%	31.3%
宮城県	80.4%	97.2%	74.4%	94.9%	○	○	○	○	57.1%	53.1%	8.8%	24.5%
秋田県	90.9%	91.5%	60.6%	84.4%		○			40.0%	10.3%	8.1%	32.3%
山形県	87.8%	90.7%	83.9%	90.3%	○	○			48.6%	23.2%	3.3%	49.2%
福島県	78.1%	91.7%	62.2%	86.7%	○	○	○	○	22.0%	19.3%	0.5%	21.1%
茨城県	97.3%	100.0%	85.0%	90.7%	○	○		○	79.5%	11.9%	27.7%	25.5%
栃木県	100.0%	100.0%	80.6%	98.5%	○	○			76.0%	22.6%	0.0%	55.7%
群馬県	100.0%	100.0%	73.2%	98.1%		○			47.2%	7.7%	17.2%	29.1%
埼玉県	100.0%	100.0%	96.4%	84.8%		○	○	○	66.7%	51.4%	10.3%	25.2%
千葉県	93.9%	96.8%	93.1%	94.4%		○	○	○	59.3%	13.8%	16.4%	24.9%
東京都	99.8%	99.9%	94.9%	95.9%		○	○	○	80.6%	30.9%	4.0%	44.3%
神奈川県	98.8%	100.0%	93.5%	91.3%	○	○	○	○	69.7%	1.9%	0.0%	28.9%
新潟県	82.7%	94.5%	50.0%	94.4%		○	○	○	60.0%	61.6%	1.8%	25.8%
富山県	78.0%	96.4%	75.0%	85.2%		○			66.7%	39.9%	13.9%	34.9%
石川県	92.9%	100.0%	81.5%	96.3%	○	○			80.0%	23.9%	9.6%	46.0%
福井県	88.1%	88.1%	76.7%	100.0%		○			64.7%	30.8%	16.0%	53.8%
山梨県	93.9%	98.9%	82.8%	75.9%	○	○			44.4%	48.3%	59.1%	36.5%
長野県	88.9%	90.5%	77.6%	71.4%		○	○	○	23.4%	20.4%	27.1%	20.6%
岐阜県	91.0%	96.9%	83.1%	75.9%	○	○	○	○	39.5%	45.5%	0.0%	21.9%
静岡県	97.6%	99.1%	91.8%	96.4%		○	○	○	77.1%	15.1%	8.2%	56.6%
愛知県	98.2%	100.0%	93.3%	84.5%	○	○	○		60.0%	88.4%	5.3%	26.7%
三重県	68.1%	90.5%	84.4%	83.9%		○			43.3%	19.7%	2.3%	20.6%
滋賀県	94.7%	97.0%	89.5%	100.0%	○	○			68.4%	33.8%	9.9%	39.2%
京都府	96.4%	99.3%	89.1%	85.2%	○	○	○	○	63.0%	1.3%	0.0%	28.0%
大阪府	97.9%	99.7%	95.6%	93.7%	○	○	○	○	79.1%	57.8%	8.6%	28.8%
兵庫県	100.0%	100.0%	89.7%	89.6%	○	○	○	○	90.2%	99.7%	100.0%	36.5%
奈良県	73.4%	100.0%	91.8%	91.7%		○			20.5%	26.0%	1.7%	14.1%
和歌山県	53.9%	99.3%	72.2%	54.7%	○	○		○	36.7%	59.4%	1.9%	36.7%
鳥取県	85.1%	100.0%	65.7%	58.8%		○	○	○	55.0%	73.1%	2.4%	34.2%
島根県	90.2%	90.2%	90.5%	95.2%	○	○	○	○	47.4%	87.3%	5.5%	37.1%
岡山県	85.2%	93.0%	76.1%	89.1%		○	○	○	55.6%	46.2%	2.8%	45.6%
広島県	93.0%	99.8%	81.4%	96.6%		○	○	○	82.6%	50.8%	47.1%	38.9%
山口県	99.3%	99.8%	76.3%	89.5%		○			63.2%	96.2%	16.9%	34.3%
徳島県	100.0%	100.0%	76.3%	100.0%	○	○			58.3%	100.0%	79.0%	81.1%
香川県	44.2%	46.7%	100.0%	82.4%		○			29.4%	78.0%	3.2%	26.8%
愛媛県	77.1%	93.3%	79.3%	93.1%		○			60.0%	91.0%	2.7%	40.3%
高知県	65.3%	81.7%	72.7%	86.4%		○			17.1%	46.8%	0.0%	40.9%
福岡県	93.3%	100.0%	82.5%	85.5%		○	○	○	58.3%	55.8%	3.3%	22.8%
佐賀県	70.2%	100.0%	97.9%	79.2%	○	○			60.0%	39.2%	0.0%	41.4%
長崎県	89.3%	97.7%	65.9%	97.6%		○			95.2%	82.2%	10.1%	23.1%
熊本県	87.7%	99.7%	69.0%	72.7%		○	○	○	48.9%	61.3%	12.4%	56.8%
大分県	95.2%	99.8%	90.0%	70.0%	○	○			66.7%	48.2%	0.0%	29.8%
宮崎県	93.5%	100.0%	83.3%	97.0%	○	○			34.6%	52.8%	1.6%	41.9%
鹿児島県	91.3%	94.4%	58.8%	98.0%		○			60.5%	53.5%	0.0%	56.8%
沖縄県	49.8%	82.3%	69.8%	60.5%		○			9.8%	0.0%	0.0%	11.1%
目標達成 自治体数	28/47	43/47	32/47	3/47	22/47	47/47	21/47	22/47	9/47	20/47	3/47	1/47

(備考) 1. 消費者庁「地方消費者行政の現況調査」により作成。

2. 政策目標の達成状況は、2024年4月1日時点。

※政策目標4-1の達成状況は、2025年1月末時点。

3. 「消費者教育コーディネーターの配置の推進」の政令市の達成状況は、堺市及び北九州市が未達成。

4. 緑掛けは目標達成している項目を示す。

5. 政策目標7-1「地方版消費者基本計画の策定」に関して、都道府県別の策定状況は2021年度から非公表としている(34/47都道府県が策定済み)。

## 資料11 事故内容別分類の説明（資料2-1、2-2及び3-1）

事故内容別分類	主な事例
火災	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガス機器、石油機器、電気製品、車両、設備等からの出火 (消防によって判断されるもの。「火災報告取扱要領」(消防庁長官通知)に定められているもの。)</li> </ul>
発煙・発火・過熱	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガスふろがま点火時のケーシングの変形</li> <li>充電中の携帯電話用電池パックからの発煙</li> <li>ガスこんろ使用時の製品の一部焼損</li> <li>電気製品からの発煙、部品の焼損・溶融 (上記の火災の判断には至らないものの、製品等からの発煙、発火等が認められるもの。)</li> </ul>
点火・燃焼・消火不良	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガスこんろ、ガスふろがま、ガス湯沸器の点火不良、異常着火、異常燃焼による焼損</li> </ul>
破裂	<ul style="list-style-type: none"> <li>エアゾール式簡易消火具の破裂</li> </ul>
ガス爆発	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガスこんろ点火動作時に漏えいしたガスに引火し爆発</li> <li>ガスふろがまの種火点火時に滞留したガスに引火し爆発</li> </ul>
ガス漏れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>LPGガスボンベや高圧ホースの接続部等からの漏えい</li> <li>ガス栓、配管等の経年劣化や腐食等による漏えい</li> </ul>
燃料・液漏れ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>消火設備の配管からの消火剤の流出</li> <li>発電機、車両からの燃料漏れ</li> </ul>
化学物質による危険	<ul style="list-style-type: none"> <li>検疫時に、食品から農薬等が確認され、成分規格不適、規格基準不適等となったもの</li> <li>製品に使用された防腐剤、接着剤、塗料等による被害</li> </ul>
漏電・電波等の障害	<ul style="list-style-type: none"> <li>家電製品の部品の装着や取り外しの際の感電</li> <li>基準を超えるレーザー光が出る製品による被害</li> </ul>
製品破損	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊具の取付け部が外れたもの</li> <li>医療機器が破損する不具合が確認されたもの</li> <li>自転車で走行中、部品が破損</li> </ul>
部品脱落	<ul style="list-style-type: none"> <li>製品、遊具等の使用中に部品が脱落</li> </ul>
機能故障	<ul style="list-style-type: none"> <li>石油ストーブや調理機器等の機能故障、動作の異常</li> <li>医療機器の動作不良が確認されたもの</li> </ul>
転落・転倒・不安定	<ul style="list-style-type: none"> <li>乗合バス等の発車、停車時に、乗客がバランスを崩して転倒</li> </ul>
操作・使用性の欠落	<ul style="list-style-type: none"> <li>折りたたみ椅子やベビーカーを開閉する際に指を挟んだもの</li> <li>家電製品、家具の角部分に接触</li> </ul>
交通事故	<ul style="list-style-type: none"> <li>バス、タクシー、運転代行、介護タクシー等で乗客を乗せ運行中に交通事故に至ったもの</li> </ul>
誤飲	<ul style="list-style-type: none"> <li>食料品以外の物を誤って食べたり飲んだりしたもの</li> </ul>
中毒	<ul style="list-style-type: none"> <li>飲食店や施設等において提供、調整された食事、弁当等による食中毒</li> <li>ガス機器、発電機等を使用した際の不完全燃焼、換気不良による一酸化炭素中毒</li> </ul>
異物の混入・侵入	<ul style="list-style-type: none"> <li>車両の燃料等への異物（水分）混入等</li> <li>異物混入等の食品衛生法違反（おそれを含む。）のもの</li> </ul>
腐敗・変質	<ul style="list-style-type: none"> <li>カビ発生（おそれを含む。）のため自主回収（食品衛生法違反）となったもの</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療サービス（手術等）におけるガーゼ等の遺残等</li> <li>アレルゲン表示の欠落等の食品表示法違反のもの</li> <li>四つの指定成分等を含有する健康食品による被害情報に関するもの</li> <li>整体やエステといった医業類似行為等で骨折や火傷を負ったもの</li> </ul>

## 資料12 商品別分類の大分類と中分類（資料2-3、2-4及び3-2）

大分類	中分類		
食料品 (飲食に供される商品)	生鮮食品	嗜好・調理食品	飲料・酒類
	健康食品	他の食料品	
家電製品 (電気機械器具の中で主に家庭用として使用されるもの)	生活家電	パソコン・パソコン関連機器	電話機・電話機用品
	音響・映像機器	他の家電製品	
住居品 (家事への使用や住宅内に置いて使用し、生活必需品の要素が強い商品)	家事用品	住生活用品	他の住居品
文具・娯楽用品 (教養、事務又は娯楽・趣味の目的で使用される商品)	文具・事務用品	書籍・印刷物	スポーツ用品
	健康器具	玩具・遊具	他の文具・娯楽用品
光熱水晶 (電気、ガス等のエネルギーを含む光熱品及び水。親メーターまでの設備等)	電気	ガス	石油
	水道	他の光熱水晶	
被服品 (衣類、付属品等、身に着けて使用するもの及びそれらを作るための服飾材料)	和服	洋服	身の回り品
	生地・糸類	他の被服品	
保健衛生品 (身体を清潔、美化し又は健康を保ち疾病治療するため使用される商品)	医薬品	医療機器	化粧品類
	理美容器具・用品	他の保健衛生品	
車両・乗り物 (人又は物を運搬するために屋外で使用するもの。自転車、ベビーカー等のように入力で移動させるものを含む。)	自動車	自動二輪車	自動車用品
	自転車・自転車用品	移動・運搬用品	他の乗り物
建物・設備 (土地、建物、住宅材料及び建築時の設置が一般的で大掛かりな設備)	建物	住宅構成材	住宅設備
	他の建物・設備		
保健・福祉サービス (保健・衛生を保つため又は身体美化のために受けるサービス及び福祉サービス)	医療	理美容	福祉
	他の保健・福祉		
他の商品・サービス (上記以外)	クリーニング	外食	商品・サービスその他

### 資料13 商品別分類（大分類）の内容の説明（資料3-5、4-1、4-6及び4-7）

商品等別分類	主な事例
商品一般	商品関連であることが明確であるが、以下の食料品から他の商品までのいずれの商品であるかを特定できない、又は特定する必要のないもの。
食料品	飲食に供される商品。
住居品	主として家事に使用するものと住宅内に置いて使用するもので、趣味、教養、娯楽等の目的より、生活必需品としての要素が強い商品。例えば、食器、冷暖房機器、家具等。
光熱水品	電気、ガス等のエネルギーを含む光熱品及び水道水等の水。供給元から各戸の親メーターまでの設備・器具を含む。
被服品	衣類とその付属品等、身に着けて使用するもの、及びそれらを作るための生地、糸等の服飾材料。
保健衛生品	人の身体を清潔にし、美化し、又は健康を保ち、疾病を治療するために使用される商品。
教養娯楽品	主として教養、事務又は娯楽・趣味の目的で使用される商品。例えば、パソコン、電話機、音響・映像製品、スポーツ用品等。
車両・乗り物	人又は物を運搬するために屋外で使用するもの。原動機を搭載しているものだけでなく、自転車、ベビーカー等のように人力で移動させるものを含む。
土地・建物・設備	宅地等の土地、住宅等の建物、住宅材料及び建築時に設置するのが一般的である相当大掛かりな住宅設備。
他の商品	商品のうち、上記の食料品から土地・建物・設備の各項目に該当しないもの。
クリーニング	クリーニング事業者に被服品、じゅうたん、カーテン等のクリーニングを依頼する場合。
レンタル・リース・貸借	商品を賃貸借する場合（不動産の場合は使用貸借も含む。）。
工事・建築・加工	不動産の請負工事、動産の加工請負。例えば、新築工事、増改築工事、リフォームサービス、仕立てサービス等。
修理・補修	品物を修理・補修してもらう場合（自分で行った修理等は含まない。）。
管理・保管	品物の管理、保管をしてもらう場合。
役務一般	役務関連であることが明確であるが、以下の金融・保険サービスから他の行政サービスまでのいずれの役務であるかを特定できない、又は特定する必要のないもの。
金融・保険サービス	生命保険・損害保険等の保険、貯蓄・証券・債券、金融派生商品及び融資・振込・送金等の金融サービス。
運輸・通信サービス	旅客・貨物運送サービス及び電話、放送、インターネット等の通信サービス。
教育サービス	学校教育、補習教育、及びそれらの関連活動。
教養・娯楽サービス	教養、趣味、娯楽の目的で受けるサービス。例えば、コンテンツ配信サービス、旅行、宿泊サービス等。
保健・福祉サービス	保健・衛生を保つため又は身体美化のために受けるサービス及び福祉サービス。
他の役務	サービス業のうち、上記の金融・保険サービスから保健・福祉サービスの各項目に該当しないもの。例えば、外食、冠婚葬祭等。
内職・副業・ねずみ講	営利を目的とする販売・契約行為のうち、上記の商品一般から他の役務のいずれにも該当せず、かつ消費者問題の範ちゅうにあると考えられるもの。
他の行政サービス	消費者問題に直接関係のない事案で、相手方が行政機関である場合。
他の相談	“売り手対買い手”という図式を持たないもの。例えば、家庭管理、相隣関係、慣習・しきたり、相続等。

## 消費者問題年表

年／項目	消費者行政等	消費者問題等
1946年 (昭和21年)	3月 「物価統制令」公布 8月 物価庁発足 8月 経済安定本部（1955年から経済企画庁）設置 11月 「日本国憲法」公布	5月 食糧メーテー（米よこせ大会） 8月 経済団体連合会発足
1947年 (昭和22年)	4月 「私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律（独占禁止法）」公布 4月 「地方自治法」公布 12月 「食品衛生法」公布	
1948年 (昭和23年)	4月 「証券取引法」公布（現金融商品取引法） 7月 「農業取締法」公布 7月 「消防法」公布 8月 「薬事法」公布（現医薬品医療機器等法）	9月 不良マッチ追放主婦大会開催 9月 「暮らしの手帖」創刊 10月 主婦連合会（主婦連）結成
1949年 (昭和24年)	6月 「工業標準化法（JIS法）」公布（現産業標準化法）	
1950年 (昭和25年)	5月 「農林物資の規格化及び品質表示の適正化に関する法律（JAS法）」公布（現日本農林規格等に関する法律（JAS法）） 5月 「放送法」公布 5月 「建築基準法」公布 8月 「商品取引所法」公布（現商品先物取引法）	
1951年 (昭和26年)	6月 「道路運送車両法」公布	3月 日本生活協同組合連合会結成
1952年 (昭和27年)	6月 「宅地建物取引業法」公布 7月 「旅行あつ旋業法」公布（現旅行業法） 7月 「栄養改善法」公布	7月 全国地域婦人団体連絡協議会（地婦連）結成
1953年 (昭和28年)	6月 厚生省オーラミン使用禁止 7月 「有線電気通信法」公布 9月 「独占禁止法」改正（再販制度を容認）	2月 テレビ放送開始 8月 民間テレビ放送開始（CM始まる） 12月 水俣病発生（熊本県水俣）
1954年 (昭和29年)	3月 「ガス事業法」公布 5月 「利息制限法」公布 6月 「出資法」公布	
1955年 (昭和30年)	7月 経済企画庁発足 8月 「繊維製品品質表示法」公布（1962年家庭用品品質表示法に吸収）	・この頃、三種の神器（洗濯機・冷蔵庫・テレビ）ブーム 3月 日本生産性本部発足 8月 森永ヒ素ミルク中毒事件 ・この頃、整腸剤キノホルムによるスモン被害発生
1956年 (昭和31年)	6月 「倉庫業法」公布	7月 「もはや戦後ではない」（経済白書） 12月 全国消費者団体連絡会（全国消団連）結成
1957年 (昭和32年)		2月 第1回全国消費者大会開催「消費者宣言」採択
1960年 (昭和35年)	8月 「薬事法」改正	8月 國際消費者機構（IOCU）結成（1995年から國際消費者機構（CI）） 9月 クレジットカード登場 9月 ニセ牛缶事件
1961年 (昭和36年)	4月 東京都に消費経済課設置（都道府県初） 6月 経企庁に国民生活向上対策審議会発足 7月 「割賦販売法」公布 11月 「電気用品取締法」公布（現電気用品安全法）	

年／項目	消費者行政等	消費者問題等
1962年 (昭和37年)	5月 「家庭用品品質表示法」公布 5月 「景品表示法」公布 9月 厚生省 サリドマイド販売禁止	3月 ケネディ米大統領「消費者の4つの権利」宣言(アメリカ合衆国) 5月 サリドマイド事件 9月 消費生活コンサルタント養成講座開設
1963年 (昭和38年)	1月 農林省に消費経済課設置(中央官庁初) 7月 「老人福祉法」公布	
1964年 (昭和39年)	4月 通産省に消費経済課設置	4月 主婦連、粉末ジュースのうそつき表示を発表
1965年 (昭和40年)	4月 厚生省、食品の赤色1号、赤色101号を使用禁止 5月 厚生省、アンプル入り風邪薬の製造禁止を通達 6月 経企庁に「国民生活局」設置(国民生活課、消費者行政課、物価政策課の3課) 6月 経企庁に国民生活審議会発足 11月 兵庫県、「神戸生活科学センター」・「姫路生活科学センター」開設	2月 アンプル入り風邪薬を飲んだ者のショック死事件が続発 4月 第2回全国消費者大会開催 11月 第3回全国消費者大会開催
1966年 (昭和41年)	7月 厚生省、不適ヘアスプレー6社に製造停止処分 8月 通産省、ユリア樹脂製食器でJIS以外は販売禁止を勧告 8月 経企庁、自治省「地方公共団体における消費者行政の推進について」を通達(消費者教育を消費者行政担当組織の事務の一つとして明示) 10月 厚生省、プラスチック製食器の新しい衛生基準を告示 11月 国生審、「消費者保護組織及び消費者教育に関する答申」	2月 第1回物価メーデー各地で開かれる 8月 主婦連、ユリア樹脂製食器からホルマリン検出 9月 ビール瓶の破裂事故各地で起こる 11月 第4回全国消費者大会開催
1967年 (昭和42年)	1月 厚生省、緑色1号を使用禁止 6月 公取委、レモン飲料7社に排除命令 6月 経企庁、消費生活モニター発足 7月 「商品取引所法」改正 8月 「公害対策基本法」公布 12月 「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律」公布	3月 第5回全国消費者大会開催 5月 ポッカレモン事件、不当表示への批判高まる 11月 第6回全国消費者大会開催
1968年 (昭和43年)	5月 「消費者保護基本法」公布(現消費者基本法) 5月 「割賦販売法」改正(前払式割賦の規制等) 7月 厚生省、ズルチンの使用全面禁止 8月 第1回消費者保護会議開催	9月 地婦連、100円化粧品「ちふれ」発売 11月 九大調査団、カネミライスオイルの毒物混入経路発表(PCB問題) 11月 第7回全国消費者大会開催
1969年 (昭和44年)	3月 「地方自治法」改正(地方公共団体の事務として消費者保護を明示) 6月 運輸省、欠陥車の総合対策を公表 10月 厚生省、チクロ使用禁止を決定	6月 欠陥自動車問題発生 7月 地婦連、日用品の過大包装調査結果を発表 10月 アメリカ、人工甘味料チクロの使用を禁止 11月 森永ミルク中毒のこどもを守る会、全国総会開催 11月 経済協力開発機構(OECD)に消費者政策委員会(CCP)設置 11月 第8回全国消費者大会開催
1970年 (昭和45年)	1月 農林省、飼料作物へのBHCとDDTの使用を禁止 2月 通産省、電子レンジの極超短波漏えい調査結果を公表 3月 厚生省、スモン病で初の全国実態調査結果を公表 4月 厚生省、牛乳中のBHC残留量を公表 5月 「JAS法」改正	1月 消費者5団体、「チクロ追放消費者大会」でチクロ入り食品不買を決定 8月 地婦連、カラーテレビの二重価格調査公表 9月 消費者5団体、カラーテレビ不買運動を決める 11月 日本消費者連盟創立委員会、ブリタニカ商法告発

年／項目	消費者行政等	消費者問題等
1970年 (昭和45年)	9月 厚生省、キノホルムの販売中止措置 10月 国民生活センター設立 11月 国生審、「消費生活に関する情報の提供及び知識の普及に関する答申」 11月 通産省、公取委、カラーテレビの二重価格表示問題について業界に警告	11月 第9回全国消費者大会開催
1971年 (昭和46年)	5月 農林省、DDTは全面禁止、BHCは林業以外使用禁止 5月 「旅行業法」改正 6月 「宅地建物取引業法」改正 6月 「積立式宅地建物販売業法」公布 7月 環境庁発足 8月 産構審、「消費者安全対策小委員会」を設置 12月 農林省、BHCを全面禁止	1月 ラルフ・ネーダー来日 1月 消費者団体で化粧品・洗剤など再販商品のボイコットを申合せ 2月 家電各社、カラーテレビ値下げ 4月 主婦連、「果実飲料等の表示に関する公正競争規約」に不服申立て 8月 栄養改善普及会、ユニットプライス運動進める 8月 「ドルショック」 10月 日本玩具協会、STマークを実施 10月 消火器の訪問販売で問題続出 11月 第10回全国消費者大会開催 12月 過剰包装追放運動広がる ・この頃、ネズミ講「天下一家の会」問題化
1972年 (昭和47年)	2月 通産省、PCBの家電製品への使用禁止を業界へ通達 5月 「景品表示法」改正 6月 「割賦販売法」改正(クーリング・オフ4日間創設) 6月 「食品衛生法」改正	1月 灘神戸生協、ユニットプライスを実施 4月 全国消団連、「PCB追放大会」開催 7月 SF商法で苦情続出 8月 主婦連、第7回IOC世界会議で再販廃止決議を提案、採決 10月 台風20号でプレハブ住宅の被害続出 11月 第11回全国消費者大会開催
1973年 (昭和48年)	2月 国生審、「サービスに関する消費者保護について」答申 3月 公取委、「無果汁の清涼飲料水等についての表示」を指定(告示) 5月 「計量法」改正(家庭用計量器に合格マーク) 5月 国生審、消費者被害救済の諸制度の検討開始 6月 「消費生活用製品安全法」公布 7月 経企庁に物価局発足 7月 「生活関連物資等の買占め及び売惜しみに対する緊急措置に関する法律(買占め防止法)」公布 10月 「家庭用品規制法」公布 10月 「化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律」公布 10月 公取委、再販許容品目大幅縮小 10月 公取委、「商品の原産国に関する不当な表示」を指定(告示) 11月 厚生省、サッカリン使用基準の改正を告示 12月 「買占め防止法」改正、「国民生活安定緊急措置法」公布	1月 消費者団体と消費者連盟、「石油タンパク検討会」で飼料化反対を申合せ 3月 大手商社の買占めに批判高まる 4月 千葉ニッコービフェニル混入事件 6月 全国消団連、PCB汚染魚の追放を水産庁に申入れ 9月 国立遺伝学研究所の遺伝研究グループ、AF2防腐剤に関する研究結果発表 9月 主婦連、欠陥プレハブ住宅被害者集会開催 10月 第1次オイルショック(物不足、「狂乱物価」) 11月 各地でトイレットペーパー、洗剤など物不足騒ぎ起こる 11月 第12回全国消費者大会開催
1974年 (昭和49年)	2月 経企、厚生、農林、通産4省庁で物価対策本部発足 5月 「神戸市民のくらしをまもる条例」公布(全国初) 6月 厚生省、塩ビモノマー使用のスプレー式殺虫剤の製造販売中止、回収措置 7月 建設省、BL(バターリビング)マーク制度を告示 8月 厚生省、AF2を使用禁止	7月 消費者34団体、AF2を追放する総決起大会開催 9月 奪われたものを取りかえす消費者の会、灯油訴訟提起(11月主婦連、鶴岡生協も続く) 11月 第13回全国消費者大会開催 ・この頃、ヤミカルテル問題化

年／項目	消費者行政等		消費者問題等	
1974年 (昭和49年)	12月 産構審、マルチ商法、訪問販売など「特殊販売の適正化について」答申			
1975年 (昭和50年)	2月 公取委、マルチ商法のホリディマジック社を立入検査	2月 大阪消費者友の会、神戸市消費者協会、「歯の苦情110番」を設置		
	3月 厚生省、歯科医療に関する苦情相談について都道府県へ通知	2月 「マルチ商法被害者対策委員会」を結成		
	5月 食品衛生調査会、サッカリンの暫定使用基準を緩和	3月 消費者24団体、「公共料金、消費者物価値上げ反対国民中央集会」開催		
	6月 文部省、学校給食パンに添加のリジンは安全と都道府県に通達	3月 銀行を告発する会、「銀行被害110番」を開設		
	7月 「商品取引所法」改正	6月 消費者21団体、「サッカリン追放連絡会」結成集会開催		
	10月 東京都衛研、市販容器から危険濃度をこえる塩ビモノマー検出	7月 消費者団体、「リジン添加阻止全国集会」を開催、文部省に要望書提出		
	12月 科技庁、「塩化ビニールに関する特別研究」結果公表	8月 大阪府地域消費者団体連絡会「化粧品110番」を設置 ・この頃、合成洗剤追放運動強まる		
		11月 第14回全国消費者大会開催		
1976年 (昭和51年)	3月 厚生省合同研究班、合成洗剤に「催奇形性なし」と結論	1月 消費者団体、塩ビ食品容器の不買運動を開始		
	6月 厚生省、「母乳汚染状況調査結果」公表	1月 アメリカFDA赤色2号の使用中止		
	6月 「訪問販売等に関する法律（訪問販売法）」公布（現特定商取引法）	10月 欠陥住宅問題化		
	6月 7省庁、ネズミ講対策各省連絡会発足	11月 第15回全国消費者大会開催		
	7月 東京都衛研、ポリプロピレン製食器からBHT（酸化防止剤）を検出	12月 ・この頃からサラ金被害が社会問題化		
	10月 国生審消費者保護部会、「消費者被害の救済について（中間報告）」公表			
1977年 (昭和52年)	5月 厚生省、カビ防止剤OPP使用許可	5月 消費者団体、第1回OPPボイコット集会開催		
	6月 「独占禁止法」改正（課徴金制度導入）	7月 化粧品公害被害者の会、損害賠償訴訟を提訴		
	6月 国生審消費者保護部会、「昭和50年代の消費者保護のあり方について（中間とりまとめ）」公表	9月 東京高裁、松下電器ヤミ再販損害賠償請求事件で損害額を認定できる証拠なしとして棄却		
		11月 消費者団体、円高差益還元を要求		
		11月 第16回全国消費者大会開催		
1978年 (昭和53年)	1月 経企庁、「欧米の消費者被害救済制度」調査報告書公表	3月 最高裁、ジュース裁判で一般消費者に景表法に基づく不服申立資格なしとして主婦連の上告棄却		
	2月 経企庁、消費者被害調査結果公表	9月 放射線を照射した粉末野菜を使用したベーフード市場に出回る		
	5月 第1回「消費者の日」	9月 一般消費税に反対運動強まる		
	8月 厚生省、食品添加物にTBZを許可	11月 第17回全国消費者大会開催		
	9月 産構審、「耐久消費財の品質保証のあり方について」答申			
	11月 「無限連鎖講の防止に関する法律（ネズミ講防止法）」公布			
	11月 通産省、自販機を割賦販売法の指定商品とする			
1979年 (昭和54年)	6月 「エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネ法）」公布	・この頃、第2次オイルショック		
	9月 国生審消費者政策部会、「危害情報の収集・提供システムのあり方」等5件の報告を内容とする意見を公表	3月 アメリカ、スリーマイル島原発事故による原子力発電の安全性に不安高まる		
	10月 「薬事法」改正、「医薬品副作用被害救済基金法」公布	6月 灯油価格の上昇始まる		
	10月 滋賀県、「琵琶湖の富栄養化の防止に関する条例」公布	10月 金の先物取引で被害続出		
		11月 第18回全国消費者大会開催		

年／項目	消費者行政等	消費者問題等
1980年 (昭和55年)	2月 厚生省、過酸化水素使用基準の改正を告示 3月 国民生活センター、商品テスト・研修施設開所 4月 住宅性能保証制度発足 4月 公取委、「消費者信用の融資費用に関する不当な表示」を指定（告示） 5月 「宅地建物取引業法」及び「積立式宅地建物販売業法」改正 5月 情報提供に関する改善措置等について閣議了解 5月 公取委、「不動産のおとり広告に関する表示」を指定（告示） 6月 国生審消費者政策部会、「短期海外研修ツアーの適正化について」報告	2月 子供のためのテレビコマーシャル規制要求高まる 9月 石油ヤミカルテル刑事事件判決（高裁判決） 11月 第19回全国消費者大会開催
1981年 (昭和56年)	2月 国民生活センター、商品テスト誌「たしかな目」発刊 4月 第1期消費生活アドバイザー認定・登録 4月 厚生省、プロピレングリコールの使用基準を設定 11月 国生審消費者政策部会、「消費者取引に用いられる約款の適正化について」報告 12月 同部会、「製品関連事故による消費者被害の救済について」及び「消費者信用情報機関の適正な運営について」報告	3月 石油ヤミカルテル民事事件判決（鶴岡） 6月 IOCU、第10回世界大会をハーグで開催。消費者被害を防ぐ国際監視体制を提言 10月 東京弁護士会、食品安全基本法を提案 11月 「日本消費者教育学会」設立 11月 第20回全国消費者大会開催
1982年 (昭和57年)	2月 厚生省、ナイロン製の器具・容器包装等4規格を設定（告示） 4月 「旅行業法」改正 5月 建設省、宅地建物取引の標準媒介契約約款を制定（告示） 6月 公取委、「おとり広告に関する表示」を指定（告示） 7月 「海外商品市場における先物取引の受託等に関する法律（海先法）」公布（2011年商品先物取引法に吸収） 8月 厚生省、臭素酸カリウムの使用基準等を改正（告示）	2月 日弁連、「食品衛生法の改正を求める意見書」を厚生省に提出 9月 高松高裁判替金請求控訴事件判決 11月 第21回全国消費者大会開催
1983年 (昭和58年)	2月 運輸省、「標準旅行業約款」の制定（告示） 3月 厚生省、「クリーニング業に関する標準営業約款」の認可 5月 「貸金業の規制等に関する法律（貸金業規制法）」公布（現貸金業法） 8月 食品に含まれる添加物78品目の物質名表示の義務付け 12月 国生審消費者政策部会、「店舗外における消費者取引の適正化について」報告 12月 「商品取引所法」改正	・この頃、食品添加物問題 4月 IOCU日本国際セミナー開催 5月 東北地方を中心に新型ネズミ講発生 9月 水銀乾電池回収問題発生 11月 第22回全国消費者大会開催
1984年 (昭和59年)	3月 国生審消費者政策部会、「消費者取引に用いられる約款の適正化について」報告 4月 経企庁、「健康食品」の販売等に関する総合実態調査公表 4月 国民生活センター、全国消費生活情報ネットワークシステム「PIO-NET」運用開始 5月 「割賦販売法」改正（抗弁の接続、個品割賦を対象にする内容） 7月 福岡県春日市、「個人情報保護条例」可決 10月 厚生省、「健康食品対策室」発足	2月 「消費者行政サミット」（9大都道府県主催）開催 2月 石油ヤミカルテル刑事事件判決（最高裁） 5月 キャプテンシステム認可（11月実施） 11月 第23回全国消費者大会開催 11月 OECD「消費者利益と国際貿易に関するシンポジウム」開催 12月 第11回IOCU世界大会で国連消費者保護ガイドラインの採択を要請する決議を採択

年／項目	消費者行政等	消費者問題等
1984年 (昭和59年)	10月 厚生省、「理容業に関する標準営業約款」及び「美容業に関する標準営業約款」の認可 11月 農水省、「消費者の部屋」開設 12月 経企庁、「消費者信用適正化研究会」(中間報告)公表	
1985年 (昭和60年)	4月 国生審消費者政策部会、「情報化時代の消費者政策について」報告 5月 通産省、「訪問販売トラブル情報提供制度」発足 7月 「市場アクセス改善のためのアクションプログラムの骨格」決定 8月 建設省、「中高層分譲共同住宅管理業者登録規程」を制定(告示) 9月 運輸省、「標準宅配便約款」を制定(告示) 11月 経企庁、「消費者問題国民会議」開催(名古屋、福岡、仙台、東京(12月)) 12月 運輸省、「モデル宿泊約款」の制定	3月 石油ヤミカルテル民事事件判決(仙台高裁) 6月 豊田商事(金の現物まがい取引等)国会で問題化 7月 オーストリア産等のワインからジエチレングリコール検出、厚生省販売自粛を要請 7月 EC閣僚理事会製造物責任に関する指令を採択 11月 第24回全国消費者大会開催
1986年 (昭和61年)	5月 「預託法」公布 5月 「有価証券に係る投資顧問業の規制等に関する法律」公布 5月 運輸省、「標準トランクルームサービス約款」の制定(告示) 5月 「化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律」改正 9月 国生審、「学校における消費者教育について」教育課程審議会に要望 10月 運輸省、「標準引越運送・取扱約款」の制定(告示) 11月 経企庁、「消費者問題国民会議」開催(札幌、広島、金沢、東京(12月)) 12月 国生審消費者政策部会、「消費者信用における金利等の弾力化等について」意見公表 12月 国生審サービス化委員会、「新しいサービス取引における消費者保護について」報告	3月 海外(金融)先物取引会社の破産、事務所閉鎖相次いで発生 5月 カネミ第2陣控訴審判決(福岡高裁) 6月 生鮮野菜から、食品添加物が検出されたことについて厚生省が添加物の適正使用について指導 10月 一部悪質抵当証券会社の詐欺的商法により被害を受ける購入者が多数発生 11月 第25回全国消費者大会開催
1987年 (昭和62年)	7月 金融制度調査会消費者信用委員会、「消費者信用のあり方について」中間報告 8月 「預託法」の適用を受ける施設利用権として、「語学を習得させるための施設を利用する権利」を追加指定 9月 「流通食品への毒物の混入等の防止に関する特別措置法」公布 11月 経企庁、「消費者問題国民会議」開催(山形、大阪、香川、東京) 12月 「抵当証券業の規制等に関する法律」公布(のちに金融商品取引法に統合)	2月 売上税法案閣議決定 2月 売上税反対集会各地で開催 3月 靈感商法横行 3月 カネミ油症事件原告とPCB製造元の鐘淵化學工業が和解 4月 カネミ油症事件被告の国が原告団の訴訟取下げに同意手続 5月 売上税法案廃案 6月 地婦連、コメ輸入自由化についてのアンケート結果発表 9月 第12回IOC世界大会開催 11月 第26回全国消費者大会開催 12月 家庭用洗浄剤混用による死亡事故発生 12月 AT車発進事故多発 12月 アスベスト汚染問題化
1988年 (昭和63年)	1月 厚生省、「健康づくりのための運動指導者の知識及び技能の審査証明事業の認定に関する規程」(告示)の制定 4月 文部省、学習指導要領改訂(消費者教育の本格導入)(小学校92年度、中学校93年度、高等学校94年度から) 5月 第1回「消費者月間」	2月 国債ネズミ講、国会で問題化 3月 水俣病刑事裁判、最高裁で刑事責任確定 6月 牛肉・オレンジ輸入自由化問題決着 7月 消費税反対7.12中央大会 8月 消費者7団体、「消費税反対消費者団体懇談会」を結成、消費税反対の共同声明を出す

年／項目	消費者行政等	消費者問題等
1988年 (昭和63年)	5月 「ネズミ講防止法」改正 5月 「宅地建物取引業法」改正 5月 「訪問販売法」改正 5月 経企庁、「消費者問題国民会議」開催(岐阜、福島、熊本、東京) 7月 厚生省、「化学的合成品たる食品添加物の食品への食品添加物表示基準」の改正 9月 国生審消費者政策部会、「サービス取引における約款の適正化について」及び「消費者取引における個人情報保護の在り方について」を報告 11月 厚生省、「健康増進施設認定規程」(告示)の制定	11月 第27回全国消費者大会開催 ・この頃、大都市圏の地価高騰問題化
1989年 (平成元年)	2月 通産省、「家庭用洗浄剤及び漂白剤等による今後の事故発生防止対策について」を業界に通達 3月 文部省、小学校、中学校、高等学校の学習指導要領改訂(消費者教育の充実) 5月 経企庁、「消費者問題国民会議」(千葉、富山、岡山、東京) 8月 通産省、「高圧ガス取締法に基づくエアゾール製品の基準」改正 10月 通産省、「家庭用品品質表示法電気機械器具品質表示規程」改正 11月 厚生省、「化学的合成品以外の食品添加物表示基準」制定 12月 地方消費者行政推進委員会、「地方消費者行政の新たな展開」報告 12月 通産省、「家庭用品品質表示法雑貨工業品品質表示規程」改正 12月 「前払い式証票の規制等に関する法律(プリペイドカード法)」公布	4月 消費税導入(3%) 5月 原野商法相次いで摘発される 5月 フロン全廃宣言を採択(ヘルシンキ会議) 7月 NTTダイヤルQ2サービス開始 8月 アジア太平洋消費者会議 11月 第28回全国消費者大会開催
1990年 (平成2年)	1月 通産省、「消費者志向優良企業表彰制度」創設 2月 電気用品安全検討会、「電気用品安全確保を図るために早急に取り組むべき安全対策について(中間報告)」公表 5月 経企庁、「消費者問題国民会議」(青森、滋賀、高知、東京) 6月 割販審前払式取引部会、「クレジット産業の今後の在り方について(中間報告)」公表 6月 割販審前払式取引部会、「前払式取引業の今後の在り方について(中間報告)」公表 6月 「食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律」公布 6月 「商品取引所法」改正 11月 通産省、「会員権取引に係る訪問販売の適正化について」通達	1月 カラーテレビの発煙・発火事故相次ぐ 2月 消費者教育支援センター設立 3月 日弁連等、「欠陥商品110番」実施 5月 日生協、リサイクル・省資源型商品300種の順次発売開始 5月 リゾートクラブ会員権のトラブル増加 7月 第13回IOC世界大会開催 8月 輸入レモンからポスト・ハーベスト農薬「2,4-D」検出 10月 湾岸情勢の影響で石油製品の値上げ相次ぐ 11月 第29回全国消費者大会開催 ・この頃、マルチ、マルチまがい商法被害増加 ・この頃、悪質電話勧誘に関する苦情増加
1991年 (平成3年)	4月 「資源の有効な利用の促進に関する法律(リサイクル法)」公布 5月 経企庁、「消費者問題国民会議」開催(新潟、大分、山梨、東京) 7月 運輸省、消費者行政課設置 9月 郵政省、「電気通信事業における個人情報保護に関するガイドライン」公表	4月 牛肉・オレンジ自由化スタート 4月 日弁連と七つの消費者団体「欠陥商品110番」実施 5月 「消費者のための製造物責任法の制定を求める連絡会」結成集会 5月 消費者団体・製造物責任法制定決起集会

年／項目	消費者行政等	消費者問題等
1991年 (平成3年)	10月 国生審消費者政策部会、「総合的な消費者被害防止・救済の在り方について」(中間報告)公表 10月 消費生活専門相談員資格認定試験実施 10月 「借地借家法」公布(定期借家制度新設)	11月 第30回全国消費者大会開催 ・この頃、ダイヤルQ2に多数の苦情 ・この頃、継続的役務取引のトラブル増加
1992年 (平成4年)	5月 経企庁、「消費者問題国民会議」(神奈川、兵庫、山口、東京) 5月 「ゴルフ場等に係る会員契約の適正化に関する法律」公布 5月 「計量法」全部改正 10月 国生審消費者政策部会、「総合的な消費者被害防止・救済の在り方について」公表 11月 国生審、「ゆとり、安心、多様性のある国民生活を実現するための基本的な方策に関する答申」提出	5月 「全国ダイヤルQ2消費者問題連絡会」結成 6月 地球サミット開催(ブラジル) 10月 カード破産を中心とする個人の自己破産急増と最高裁発表 11月 第31回全国消費者大会開催
1993年 (平成5年)	4月 公取委、再販指定商品の縮小 4月 公取委、「おとり広告に関する表示」告示の変更 5月 経企庁、「消費者問題国民会議」(岩手、静岡、愛媛、東京) 6月 通産省、「継続的役務取引適正化研究会」報告書公表 6月 「JAS法」改正 7月 郵政省、「電気通信利用者相談室」設置 10月 中央薬事審議会製造物責任制度等特別部会報告公表 11月 厚生省、「食品の日付表示に関する検討会」報告公表 11月 農水省、「食品表示問題懇談会」報告公表 11月 食品に係る消費者被害防止・救済対策研究会報告公表 11月 産構審総合製品安全部会、「事故防止及び被害救済のための総合的な製品安全対策の在り方について」答申 11月 「環境基本法」公布 12月 国生審消費者政策部会、「製造物責任制度を中心とした総合的な消費者被害防止・救済の在り方について」公表 12月 国生審、「製造物責任制度を中心とした総合的な消費者被害防止・救済の在り方について(意見)」提出	・この頃、バブル崩壊により変額保険被害問題化 2月 消費者のための製造物責任法の制定を求める連絡会が各地で「欠陥商品110番」を実施 4月 EC閣僚理事会「消費者契約における不公正条項に関する指令」を採択 7月 製造物責任法制定を求める消費者の請願署名全国で245万人を超える 9月 抗ウイルス剤「ソリブジン」抗ガン剤との相互作用による死亡事故続発 11月 記録的な冷夏、コメ不足でコメを緊急輸入 11月 経済改革研究会、中間報告「規制緩和について」提出 11月 第32回全国消費者大会開催 12月 ガットウルグアイラウンドでコメ部分開放の受け入れ決定 ・この頃、マルチ、マルチまがい商法被害増加続く
1994年 (平成6年)	1月 法制審民法部会、審議結果公表 2月 法制審総会で民法部会審議結果を了承 5月 経企庁、「消費者問題国民会議」(栃木、奈良、宮崎、東京) 6月 「不動産特定共同事業法」公布 7月 「PL法」公布 7月 「道路運送車両法」改正(リコールの法制化) 11月 国生審消費者政策部会消費者行政問題検討委員会、「今後の消費者行政の在り方について」報告 12月 厚生省、「食品衛生法施行規則」等改正 12月 農水省、「JAS法に基づく日本農林規格及び品質表示基準」(告示)改正	2月 国産米品薄で価格が急騰 3月 カラーテレビの発火事故で大阪地裁においてメーカー敗訴 8月 IOC国際消費者法セミナー開催 9月 第14回IOC国際消費者法セミナー開催 11月 第33回全国消費者大会開催 ・この頃、「価格破壊」進む

年／項目	消費者行政等	消費者問題等
1995年 (平成7年)	2月 経企庁、「兵庫県南部地震関連生活問題110番」設置 3月 総理府、「消費者問題に関する世論調査」公表 4月 食品の日付表示を期限表示に一本化 5月 経企庁、「消費者問題国民会議」開催(秋田、三重、島根、東京) 5月 「旅行業法」改正(1996年施行) 5月 「食品衛生法」及び「栄養改善法」改正 6月 「保険業法」全部改正 10月 国民生活センター、ホームページ開設 10月 国民生活センター、こんにゃくゼリー窒息事故情報公表 11月 食糧法施行、コメの流通規制の緩和 12月 産構審消費者政策部会、「電話勧誘等による販売及び連鎖販売取引の適正化のための方策の在り方について」答申	1月 國際消費者機構（IOCU）、國際消費者機構（CI）へ名称変更 1月 阪神・淡路大震災発生 ・この頃住宅関連の消費生活相談急増、また、便乗悪質商法急増 3月 「規制緩和推進計画」決定 9月 水俣病被害者組織5団体、政府の示した最終解決案を受け入れ 10月 HIV訴訟、和解勧告が出される 11月 第34回全国消費者大会開催 ・この頃、悪質な電話勧誘に関する苦情急増続く ・この頃、悪質な電話勧誘による資格商法に対する取締りを強化
1996年 (平成8年)	4月 公取委、「景品規則に関する告示等」改正 5月 経企庁、「消費者問題国民会議」開催(埼玉、名古屋、長崎、東京) 5月 「訪問販売法」改正 5月 厚生省、「栄養表示基準制度」施行 6月 「民事訴訟法」全面改正(少額訴訟制度) 7月 0-157関係閣僚会議設置 9月 青果物5品目に対し原産地表示を義務付け 9月 郵政省、「放送における視聴者の加入者個人情報の保護に関するガイドライン」公表 11月 行革委行政情報公開部会報告 11月 郵政省、「発信者情報通知サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」公表 12月 国生審消費者政策部会、「消費者取引の適正化に向けて」報告 12月 行革委規制緩和小委員会、「創意で造る新たな日本」報告 12月 郵政省、「電気通信における利用環境整備に関する研究会報告書」公表	2月 欧州で狂牛病発生 7月 病原性大腸菌0-157による食中毒続出 11月 第35回全国消費者大会開催 ・この頃、利殖に係る預り金を名目とした広域詐欺事件の発覚と検挙
1997年 (平成9年)	4月 公取委、再販指定商品(化粧品、一般用医療品)の指定取消 4月 国民生活センター、朝日ソーラーを実名公表 5月 経企庁、「消費者問題国民会議」開催(徳島、福井、茨城、東京) 6月 公取委、報告書「有料老人ホームにおける消費者取引の適正化について」を公表 7月 「預託法」の施行令改正 7月 郵政省、「電気通信利用環境整備室」設置 9月 法務省、成年後見問題研究会報告公表 11月 第30回消費者保護会議 12月 行政改革会議最終報告公表 12月 「介護保険法」公布	1月 発信電話番号通知サービスの試験サービス開始 1月 「ココ山岡宝飾店」破産 ・この頃、多重債務者を狙った手形に係る広域詐欺事件の発覚と検挙 4月 消費税率3%から5%に引き上げ 6月 アメリカでタバコ訴訟和解成立 11月 第36回全国消費者大会開催 ・この頃、遺伝子組換食品に対して消費者から表示の要求高まる ・この頃、預託商法の被害急増
1998年 (平成10年)	1月 国生審消費者政策部会、中間報告公表 3月 規制緩和推進3か年計画閣議決定 3月 「特定非営利活動促進法(NPO法)」公布 4月 法務省、「成年後見制度の改正に関する要綱試案」公表	2月 発信者情報通知サービス開始 5月 タバコ訴訟、JTと国に7,000万円損害賠償請求 6月 仏ワールドカップ、入場券不足問題 6月 カップ麺の環境ホルモン溶出論争

年／項目	消費者行政等	消費者問題等
1998年 (平成10年)	<p>4月 「商品取引所法」改正</p> <p>5月 「HACCP支援法」公布</p> <p>5月 経企庁、「消費者問題国民会議」(東京、千葉、和歌山、鳥取)</p> <p>6月 「金融システム改革のための関係法律の整備等に関する法律(金融システム改革法)」公布(金融ビックバン)</p> <p>6月 厚生省、「有料老人ホーム等のあり方に関する検討会報告書」公表</p> <p>6月 高度情報通信社会推進本部電子商取引等検討部会、「電子商取引等の推進に向けた日本の取組み」公表</p> <p>6月 「特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)」公布</p> <p>10月 農水省、「食品等の表示・規格制度の見直しについて」公表</p> <p>10月 郵政省、「電気通信サービスにおけるプライバシー保護に関する研究会報告書」公表</p> <p>11月 農水省、「有機食品の検査・認証制度導入について」公表</p> <p>12月 国民生活センター、「全国消費者フォーラム」開催</p> <p>12月 文部省、小学校、中学校の学習指導要領改訂(消費者教育の充実)</p> <p>12月 郵政省、「電気通信事業における個人情報保護に関するガイドライン」(告示)の改訂</p>	<p>8月 医師への損害賠償訴訟提訴、97年596件へ急増(5年前の約6割増)</p> <p>10月 OECD電子商取引閣僚級会合で「プライバシー保護」等を決定</p> <p>11月 アメリカ、タバコ訴訟25兆円で和解</p> <p>11月 第37回全国消費者大会開催</p>
1999年 (平成11年)	<p>1月 国生審消費者政策部会報告公表</p> <p>2月 産構審消費経済部会提言公表</p> <p>2月 割販審クレジット産業部会中間報告公表</p> <p>3月 規制緩和推進3か年計画(改定)閣議決定</p> <p>3月 消費者政策国際会議</p> <p>3月 文部省、高等学校の学習指導要領改訂(消費者教育の充実)</p> <p>4月 「訪問販売法」及び「割賦販売法」改正</p> <p>5月 経企庁、「消費者問題国民会議」開催(東京、京都、佐賀、群馬)</p> <p>6月 「住宅品確法」公布</p> <p>6月 国民生活センター、「多重債務者問題に関する調査報告書」公表</p> <p>7月 「JAS法」改正</p> <p>7月 「ダイオキシン類対策特別措置法(ダイオキシン対策法)」公布</p> <p>7月 大蔵省・通産省個人信用情報保護・利用の在り方に関する作業部会、「個人信用情報保護・利用の在り方に関する論点・意見の中間的な整理」公表</p> <p>8月 「不正アクセス行為の禁止等に関する法律」公布</p> <p>8月 農水省、「食品表示問題懇談会遺伝子組換え食品部会報告書」報告</p> <p>8月 「消費生活用製品安全法」、「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律」、「電気用品取締法」(「電気用品安全法」に改称、PSCマーク導入)及び「ガス事業法」改正</p>	<p>1月 日本医師会、カルテ原則公開の指針</p> <p>5月 遺伝子組換えトウモロコシの花粉が周辺のチョウに被害を及ぼすそれを指摘した論文が英科学誌「ネイチャー」に掲載</p> <p>6月 PL訴訟における初めての肯定判決(名古屋地裁)</p> <p>6月 消費者向け相談窓口を設置することや化学物質の放出に基準を設置すること等を内容とする優良住宅(BL)部品認定制度の改定</p> <p>9月 クローン牛肉試験販売スタート</p> <p>9月 病原性大腸菌O-157集団食中毒で堺市への4,500万円賠償で結審(大阪地裁)</p> <p>10月 高利貸金業の「商工ローン」問題国会で審議</p> <p>11月 第38回全国消費者大会開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この頃、消費者被害の救済に役立つ消費者契約法の制定を求める特別決議</li> <li>・この頃、東海村臨界事故についての特別決議</li> </ul> <p>12月 コンピューター2000年問題への対応</p> <p>12月 和服モニターの高額商品購入問題多発</p> <p>12月 社団法人日本玩具協会、塩化ビニール使用を含むおもちゃ素材表示の自主基準作成</p> <p>12月 OECD消費者政策委員会電子商取引ガイドライン公表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この頃、生命保険の転換問題</li> <li>・この頃、電気通信業者や地方公共団体等個人情報漏洩事件多発</li> <li>・この頃、コンピューターウィルス被害急増:99年に過去最悪の3,645件</li> </ul>

年／項目	消費者行政等	消費者問題等
1999年 (平成11年)	11月 高度情報通信社会推進本部、「我が国における個人情報保護システムの在り方について（中間報告）」発表 12月 改正民法等4法公布 12月 「貸金業規制法」、「出資法」、「利息制限法」改正 12月 国生審消費者政策部会報告公表 12月 金融審議会第一部会、「中間整理（第二次）」公表 12月 厚生省、「いわゆる栄養補助食品の取扱いに関する検討会」中間報告書公表 12月 「良質な賃貸住宅等の供給の促進に関する特別措置法」公布（改正借地借家法を含む）	
2000年 (平成12年)	1月 厚生省食品衛生調査会バイオテクノロジー特別部会、「組換えDNA技術応用食品・食品添加物の安全性審査の法的義務化」公表 1月 東アジア消費者政策シンポジウム 3月 CODEXバイオテクノロジー応用食品特別部会第1回会議 3月 国民生活センター、「金融商品に係る消費者トラブル問題調査報告書」公表 3月 規制緩和推進3か年計画（再改定）閣議決定 3月 文部省・厚生省・農水省、「食生活指針」を策定「食生活指針の推進について」閣議決定 4月 「介護保険法」施行（同法公布は、1997年12月） 5月 「消費者契約法」公布 5月 「金融商品の販売等に関する法律」公布（現金融サービスの提供及び利用環境の整備等に関する法律） 5月 遺伝子組換え食品の安全性審査義務化に関する告示公布 6月 公取委、「不当な価格表示についての景品表示法上の考え方」公表 11月 「訪問販売法」改正（「特定商取引に関する法律」と改称）及び「割賦販売法」改正 12月 「マンションの管理の適正化の推進に関する法律」公布	3月 CODEX食品規格委員会バイオテクノロジー応用食品特別部会、遺伝子組換え食品等の安全性評価についての指針等を検討 3月 「ココ山岡宝飾店」のダイヤモンド買戻し商法に伴う訴訟で原告・被告双方が未払代金を免除する和解案により合意 3月 弁護士広告原則解禁決定（10月から実施） 4月 成年後見制度開始 6月 雪印乳業食中毒事故発生：有症者数14,849名（9月8日現在） 7月 三菱自動車リコール隠し発覚 10月 新築住宅の住宅性能表示制度開始 10月 エステティックサロン「エステdeミロード」の運営会社破産 11月 第39回全国消費者大会開催 11月 ジェット噴流バスで死亡事故判明
2001年 (平成13年)	1月 中央省庁再編・内閣府設置 国民生活センターの監督官庁が経企庁から内閣府に移行、国民生活局も経企庁から内閣府へ移管 3月 規制改革推進3か年計画閣議決定 4月 「高齢者の居住の安定確保に関する法律」公布 6月 「電子消費者契約及び電子承諾通知に関する民法の特例に関する法律（電子消費者契約法）」公布 6月 「倉庫業法」改正 10月 全ての食用牛を対象とした異常プリオン（牛海綿状脳症）検査の開始 10月 牛の特定危険部位（脳、目、せき臍、回腸遠位部）の除去焼却義務化 11月 「プロバイダー責任制限法」公布	9月 国内で初めて牛海綿状脳症に罹患した牛を確認 11月 第40回全国消費者大会開催 ・この頃、いわゆる「ワン切り」問題多発
2002年 (平成14年)	3月 電子商取引等に関する準則を策定 3月 規制改革推進3か年計画（改定）閣議決定	11月 第41回全国消費者大会開催 ・この頃、食品偽装表示事件等の多発

年／項目	消費者行政等	消費者問題等	
2002年 (平成14年)	4月 「特定電子メール法」公布 4月 「特定商取引法」改正 6月 「JAS法」改正（罰金額引き上げ） 6月 「BSE対策特別措置法」公布 7月 「建築基準法等の一部を改正する法律」公布（シックハウス症候群対策） 8月 「健康増進法」公布 12月 「有線電気通信法」改正（ワン切り規制） 12月 食品の表示に関する共同会議開催 12月 国生審消費者政策部会自主行動基準検討委員会報告公表 12月 「国民生活センター法」公布 12月 「農薬取締法」改正		
2003年 (平成15年)	3月 規制改革推進3か年計画（再改定）閣議決定 4月 公正取引委員会、総務省から内閣府へ移管 4月 死亡牛全頭のBSE検査を開始 5月 国生審消費者政策部会報告公表 5月 国生審消費者政策部会公益通報者保護制度検討委員会報告公表 5月 「個人情報保護法」公布 5月 「食品安全基本法」公布（食品安全委員会設置等） 5月 「景品表示法」改正（不実証広告規制の導入等） 6月 食品安全関連5法公布（「HACCP支援法」の改正等） 6月 食の安全・安心のための政策大綱を公表 6月 総務省に消費者行政課設置 7月 農水省に消費・安全局設置 7月 加工食品に係る期限表示用語の統一 8月 「貸金業規制法及び出資法の一部改正法（ヤミ金融対策法）」公布 10月 生産情報公表JAS規格（牛肉）制定	11月 第42回全国消費者大会開催 12月 アメリカでBSE感染牛を確認。これに伴い、同国からの牛肉等の輸入を停止 ・この頃、架空不当請求被害増大	
2004年 (平成16年)	1月 「食品安全基本法第21条第1項に規定する基本的事項」閣議決定 3月 規制改革・民間開放推進3か年計画閣議決定 4月 「個人情報の保護に関する基本方針」閣議決定 4月 公取委、「有料老人ホーム等に関する不当な表示」を指定（告示） 4月 消費税総額表示制度開始 5月 「特定商取引法」改正 6月 「消費者保護基本法」改正（消費者基本法に改称） 6月 「公益通報者保護法」公布 9月 第1回消費者政策会議 11月 厚労省、「めん類飲食店営業に関する標準営業約款」及び「一般飲食店営業に関する標準営業約款」認可 12月 「裁判外紛争解決手続の利用の促進に関する法律（ADR法）」公布	1月 国内において高病原性鳥インフルエンザが発生 ・この頃、組織的なヤミ金融事犯に係る犯罪被害財産の発覚 11月 第43回全国消費者大会開催 ・この頃、振り込め詐欺被害の多発 ・この頃、偽造・盗難キャッシュカードによる被害の急増	
2005年 (平成17年)	3月 規制改革・民間開放推進3か年計画（改定）閣議決定 4月 「消費者基本計画」閣議決定 4月 「個人情報の保護に関する法律」施行（個人情報取扱事業者の義務規定）	2月 京都議定書発効（温室効果ガス6%削減目標） 5月 高齢者を狙った悪質リフォーム工事被害が社会問題化 11月 耐震偽装問題	

年／項目	消費者行政等	消費者問題等
2005年 (平成17年)	4月 「独占禁止法」改正 4月 「携帯電話不正利用防止法」公布 5月 「保険業法」改正 5月 「特定電子メール法」改正 6月 国生審消費者政策部会消費者団体訴訟制度検討委員会報告公表 6月 「食育基本法」公布 6月 金融庁に金融サービス利用者相談室設置 7月 「JAS法」改正 8月 「偽造カード等及び盗難カード等を用いて行われる不正な機械式預貯金払戻し等からの預貯金者の保護等に関する法律（預貯金者保護法）」公布	11月 第44回全国消費者大会開催 ・この頃、多重債務問題の深刻化 ・この頃、生命保険、損害保険各社の保険金不払問題
2006年 (平成18年)	6月 「消費者契約法」改正（消費者団体訴訟制度導入） 6月 「証券取引法等の一部を改正する法律」、「証券取引法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律」公布（「証券取引法」を「金融商品取引法」に改称） 7月 「犯罪被害財産等による被害回復給付金の支給に関する法律」公布（被害回復給付金支給制度開始） 7月 消費者政策会議、「消費者基本計画」の検証・評価・監視の取りまとめ 12月 「消費生活用製品安全法」改正 12月 「貸金業法（貸金業等の規制に関する法律から改称）」、「出資法」、「利息制限法」改正	3月 シュレッダーによる幼児の指切断事故 6月 シンドラー社エレベーター事故 6月 「消防法」改正（住宅用火災報知機等の設置義務付け） 10月 「法テラス（日本司法支援センター）」、相談対応開始 11月 第45回全国消費者大会開催 ・この頃、パロマ工業社製のガス瞬間湯沸器の一酸化炭素中毒死亡事故問題の顕在化 11月 学納金返還訴訟最高裁判決 ・この頃、いわゆる「ロコ・ロンドン取引」の被害表面化
2007年 (平成19年)	5月 「特定住宅瑕疵担保責任の履行の確保等に関する法律（住宅瑕疵担保履行法）」公布 7月 消費者政策会議、「消費者基本計画」の検証・評価・監視の取りまとめ 10月 国民生活センター、こんにゃく入りゼリーの窒息による死亡事故情報の公表 11月 「消費生活用製品安全法」改正 11月 「電気用品安全法」改正 12月 「犯罪利用預金口座等に係る資金による被害回復分配金の支払等に関する法律（振り込め詐欺救済法）」公布	6月 NOVA事件 10月 郵政民営化 10月 L&G（円天）事件 11月 第46回全国消費者大会開催 ・この頃、ミートホープ事件等の食品偽装表示事件の発覚
2008年 (平成20年)	1月 福田首相、施政方針演説で「消費者庁」を創設する方針を表明 2月 第1回消費者行政推進会議 3月 文科省、小学校、中学校の学習指導要領改訂（消費者教育の充実） 5月 「消費者契約法等の一部を改正する法律」公布（特商法・景品表示法へ差止請求の対象拡大） 5月 「国民生活センター法」改正（国民生活センターに紛争解決委員会設置） 6月 「保険法」公布 6月 「特定電子メール法」改正 6月 「特定商取引法」、「割賦販売法」改正（指定商品・役務制の廃止、訪問販売・クレジット取引・インターネット取引に関する規制強化等） 6月 消費者行政推進基本計画閣議決定	1月 中国冷凍ギョウザ問題 4月 後期高齢者医療制度開始 9月 リーマン・ブラザーズ破綻 9月 事故米穀不正規流通問題 11月 第47回全国消費者大会開催 11月 「日本消費者法学会」設立 ・この頃、ゼロゼロ物件トラブル増加

年／項目	消費者行政等	消費者問題等
2008年 (平成20年)	7月 消費者政策会議、「消費者基本計画」の検証・評価・監視の取りまとめ	
2009年 (平成21年)	1月 平成20年度第2次補正予算成立。地方消費者行政活性化基金創設 3月 文科省、高等学校の学習指導要領改訂（消費者教育の充実） 4月 「JAS法」改正 4月 「米トレーサビリティ法」公布 4月 国民生活センター裁判外紛争解決手続（ADR）開始 4月 警察庁に生活経済対策管理官設置 6月 「消費者庁関連3法（消費者庁及び消費者委員会設置法、消費者庁及び消費者委員会設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律、消費者安全法）」公布 6月 「資金決済に関する法律」公布（「前払い式証票の規制等に関する法律」廃止） 6月 「独占禁止法」改正 7月 「商品取引所法」改正（「商品先物取引法」に改称） 9月 内閣府に消費者庁及び消費者委員会設置	2月 商工ローン業者「SFCG（旧商工ファンド）」、民事再生法の適用を申請 9月 花王、「エコナ関連製品」製造・販売中止 11月 第48回全国消費者大会開催 ・この頃、新型インフルエンザの流行 ・この頃、劇場型勧誘による被害多発
2010年 (平成22年)	1月 「消費者ホットライン」全国で運用開始 2月 「地方消費者行政の充実・強化のためのプラン」策定 3月 第2期「消費者基本計画」閣議決定 3月 「消費者安全の確保に関する基本的な方針」内閣総理大臣決定 6月 「貸金業法」、「出資法」、「利息制限法」完全施行 8月 消費者委員会初の建議 11月 「放送法」改正 11月 「消費生活用製品安全法施行令」改正（いわゆる使い捨てライターを追加指定）	4月 口蹄疫の発生 5月 パロマ工業社製ガス瞬間湯沸器による一酸化炭素中毒による死傷事故で、東京地裁が前社長に有罪判決 ・この頃、外国通貨購入の被害が増加 ・この頃、クレジットカード現金化問題 9月 貴金属等の訪問買取り被害多発 9月 消費者金融業者最大手「武富士」経営破綻 11月 第49回全国消費者大会開催 11月 こんにゃく入りゼリー、製品に欠陥なし判決
2011年 (平成23年)	2月 トランス脂肪酸表示の指針をまとめる 3月 国民生活センター、「震災関連悪質商法110番」を被災4県対象に実施（120日間） 4月 「高齢者の居住の安定確保に関する法律」改正 6月 「老人福祉法」改正（有料老人ホーム利用者保護、後見等の体制整備） 7月 「消費者基本計画」一部改定 10月 国交省、「宅地建物取引業法施行規則」改正（悪質勧誘禁止） 11月 消費者庁に越境消費者センター開設 11月 海外留学に仲介業者の認定制度「留学サービス審査機構」設立	1月 グルーポンの販売したおせち料理に苦情が相次ぐ 3月 東日本大震災 原発事故発生 ・この頃、震災に便乗した商法続発 ・この頃、放射性物質に対する不安広がる 4月 生食用牛肉で団体食中毒発生 ・この頃、小麦加水分解物を含有する「茶のしづく石鹼」によるアレルギー発覚 7月 決済代行業者登録制度（任意）開始 7月 地上デジタル放送完全移行（一部を除く） ・この頃、不適切な発行・勧誘行為による医療機関債トラブル発生 ・この頃、安愚楽牧場事件（5月民事再生法の適用申請、11月破産手続へ） 9月 PSCマークのない使い捨てライター販売禁止 12月 第50回全国消費者大会開催 ・この頃、スマートフォンのトラブル急増
2012年 (平成24年)	7月 「地方消費者行政の充実・強化のための指針」策定 8月 「食品表示一元化検討会」報告書公表 8月 「特定商取引法」改正（訪問購入の追加） 8月 「消費者教育推進法」公布	5月 ・この頃、サクラサイト商法の被害拡大 「コンプガチャ」問題（景品表示法違反の見解） ・この頃、劇場型投資被害増大

年／項目	消費者行政等	消費者問題等
2012年 (平成24年)	8月 「消費者基本法」改正 8月 「消費者安全法」改正（消費者安全調査委員会の設置、消費者の財産被害に係るすき間事案への行政措置の導入） 9月 「金融商品取引法」改正 10月 消費者庁に消費者安全調査委員会発足 12月 「消費者団体訴訟制度ダイヤル」開設	・この頃、被害を取り戻すという名目による「二次被害」増加 ・この頃、健康食品の送り付け商法多発
2013年 (平成25年)	6月 「食品表示法」公布、「食品衛生法」、「JAS法」、「健康増進法」、「消費者契約法」（食品表示法へ差止請求の対象拡大）改正 6月 「消費税転嫁対策特別措置法」公布 6月 「平成25年版消費者白書（消費者政策の実施の状況に関する報告書）」公表（消費者庁初の法定白書） 12月 「消費者裁判手続特例法」公布	1月 第51回全国消費者大会開催 7月 カネボウ化粧品、美白化粧品による白斑トラブル発覚 10月 ホテル、百貨店、レストラン等における食品表示等の不正事案多発 12月 アクリフルーズ、冷凍食品の農薬混入事案発覚
2014年 (平成26年)	3月 「メニュー・料理等の食品表示に係る景品表示法上の考え方について」公表 6月 「景品表示法」、「消費者安全法」改正 6月 消費者安全調査委員会、「幼稚園で発生したプール事故」の報告書を公表（2014年には他に2件の事案について報告書公表） 11月 「景品表示法」改正（課徴金制度導入）	3月 第52回全国消費者大会開催 4月 消費税率5%から8%に引き上げ 7月 中国の工場における使用期限切れ鶏肉加工食品問題が発覚 7月 ベネッセコーポレーション、個人情報流出が発覚 ・この頃、遠隔操作によるプロバイダー変更勧誘トラブルが急増 ・この頃、海外事業者とのバイナリーオプション取引に関するトラブルが急増 12月 ファストフード店等での異物混入報道
2015年 (平成27年)	3月 第3期「消費者基本計画」閣議決定 3月 「地方消費者行政強化作戦」策定 3月 全国全ての市区町村に消費生活相談窓口設置 4月 「食品表示法」改正及び「食品表示基準」施行 4月 越境消費者センターの運営を消費者庁から国民生活センターへ移管 6月 消費者安全調査委員会、「エスカレーター事故」の報告書公表（2015年には他に2件の事案について報告書公表） 7月 消費者ホットライン3桁化「188(いやや！)」 9月 「個人情報の保護に関する法律」及び「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」改正 11月 「総合的なTPP関連政策大綱」決定	3月 第53回全国消費者大会開催 5月 日本年金機構が保有する個人情報が流出する事件発生 ・この頃、個人情報削除を持ち掛ける詐欺に関する相談が急増 ・この頃、光回線サービスの卸売に関する相談が急増 10月 分譲マンションの基礎杭打ちデータ改ざんが発覚 ・この頃、マイナンバーが通知され始め、関連の相談が急増
2016年 (平成28年)	4月 「景品表示法」に課徴金制度導入（2014年11月改正法の施行） 5月 「特定商取引法」、「消費者契約法」改正 6月 「子供の事故防止に関する関係府省庁連絡会議」設置 8月 消費者安全調査委員会、「エレベーターの戸開走行事故」の報告書公表（2016年には他に1件の事案について報告書公表） 10月 「消費者裁判手続特例法」施行 12月 第1回消費生活相談員資格試験実施 12月 衣類等の「洗濯表示」の変更	1月 軽井沢スキーバス事故発生 3月 第54回全国消費者大会開催 4月 電力小売全面自由化 4月 平成28年熊本地震発生 ・この頃、通信販売で健康食品等を「1回だけ」のつもりで購入したところ定期購入契約をしたことになっていたとの相談が急増 9月 特定保健用食品に、許可時の関与成分が規定量含まれていない等の重大な違反事案が発生、一部製品の許可取消し

年／項目	消費者行政等	消費者問題等
2017年 (平成29年)	<p>6月 「国民生活センター法」等の改正（特定適格消費者団体の被害回復裁判手続において、国民生活センターが仮差押えのための立担保を可能とする）</p> <p>7月 消費者庁、国民生活センター、「消費者行政新未来創造オフィス」を開設</p> <p>9月 「食品表示基準」の改正により、全ての加工食品を対象とした原料原産地表示制度開始</p> <p>11月 消費者安全調査委員会、「玩具による乳幼児の気道閉塞事故」の報告書公表（2017年には他に2件の事案について報告書公表）</p> <p>12月 消費者庁、ジャパンライフに2016年12月、2017年3月、11月に続き4回目の行政処分</p>	<p>3月 第55回全国消費者大会開催</p> <p>3月 格安旅行会社「てるみくらぶ」、破産手続開始決定</p> <p>4月 グローワール・ブリ工東京（脱毛サロン エターナル・ラビリンスを展開）、破産手続開始決定</p> <p>4月 ガス小売全面自由化 ・この頃、法務省等をかたる架空請求のはがきに関する相談が急増 ・この頃、大手企業による品質データの改ざん等の不祥事が多発</p>
2018年 (平成30年)	<p>2月 「若年者への消費者教育の推進に関するアクションプログラム」決定</p> <p>3月 「地方消費者行政強化交付金」創設</p> <p>6月 「消費者契約法」改正</p> <p>6月 「民法」改正（成年年齢を20歳から18歳に引き下げるなど）</p> <p>7月 消費者ホットライン188イメージキャラクター「イヤヤン」を発表</p> <p>7月 「ギャンブル等依存症対策基本法」公布</p> <p>7月 国民生活センター、「平成30年7月豪雨消費者トラブル110番」開設</p> <p>7月 「架空請求対策パッケージ」消費者政策会議決定</p> <p>8月 特別用途食品における乳児用液体ミルクの許可基準策定</p> <p>9月 消費者安全調査委員会、「電動シャッターモ動作時の事故」の報告書公表</p> <p>11月 第1回消費者志向経営優良事例表彰式</p> <p>12月 国民生活センター、「訪日観光客消費者ホットライン」を開設</p> <p>12月 「食品表示法」改正</p> <p>12月 「チケット不正転売禁止法」公布</p>	<p>1月 振袖の販売・レンタル業者「はれのひ」突然の営業停止によるトラブル発生</p> <p>1月 コインチェックによる仮想通貨流出事件発生</p> <p>3月 ジャパンライフ、破産手続開始決定</p> <p>3月 第56回全国消費者大会開催</p> <p>5月 スマートデイズ（シェアハウスのサブリース業を展開）、破産手続開始決定</p> <p>6月 大阪府北部を震源とする地震発生</p> <p>7月 平成30年7月豪雨発生</p> <p>9月 平成30年台風21号、平成30年北海道胆振東部地震発生 ・この頃、大規模自然災害が頻発し、災害に関する相談が増加</p> <p>9月 ケフィア事業振興会、破産手続開始決定</p> <p>9月 豚コレラ（2020年2月、豚熱に改称）の発生 ・架空請求に関する相談が前年に引き続き増加</p> <p>12月 消費者裁判手続特例法に基づく特定適格消費者団体による初の提訴</p>
2019年 (令和元年)	<p>1月 消費者安全調査委員会、「住宅用太陽光発電システムから発生した火災事故等」の報告書公表（2019年にはほかに1件の事案について報告書公表）</p> <p>4月 「食品表示基準」の遺伝子組換えに関する任意表示制度について改正（施行：2023年4月）</p> <p>5月 「プラスチック資源循環戦略」を策定</p> <p>5月 「電気通信事業法」改正（携帯電話の通信料金と端末代金の完全分離等）</p> <p>5月 5月18日を「消費者ホットライン188（いややの日）」として記念日制定</p> <p>5月 「食品ロス削減推進法」公布</p> <p>7月 消費者庁、WILL株式会社及びWILL株式会社の関連法人7社に対し行政処分</p> <p>7月 「食品循環資源の再生利用等の促進に関する基本方針」改定</p> <p>8月 新たな恒常的拠点として徳島に「新未来創造戦略本部」設置を発表</p> <p>9月 消費者庁及び消費者委員会設置10年</p>	<p>2月 豚熱の感染拡大</p> <p>3月 第57回全国消費者大会開催 ・この頃、インターネットにおけるチケット転売に関する相談が2018年に比べ5倍以上に増加（9月：ラグビーワールドカップ2019）</p> <p>7月 かんぽ生命の不適切販売が社会問題化</p> <p>8月 東京都練馬区の遊園地「としまえん」の水上エア遊具にて女児の死亡事故が発生</p> <p>8月 令和元年台風第10号</p> <p>9月 令和元年房総半島台風</p> <p>10月 消費税率8%から10%に引き上げ</p> <p>10月 令和元年東日本台風 ・この頃、自然災害に関する相談が増加</p>

年／項目	消費者行政等	消費者問題等
2019年 (令和元年)	9月 G20消費者政策国際会合を徳島で開催 11月 国民生活センター、「令和元年秋台風関連消費者ホットライン」を開設	
2020年 (令和2年)	3月 「国民生活安定緊急措置法施行令の一部を改正する政令」を閣議決定（マスクの転売規制、2020年にはほかにアルコール消毒製品の転売を5月から規制） 3月 消費者庁、新型コロナウイルスに対する予防効果を標ぼうする商品の表示の緊急監視、改善要請（2020年以降も継続的に監視、改善要請、行政指導等を実施） 3月 第4期「消費者基本計画」閣議決定 3月 「食品ロスの削減の推進に関する基本の方針」閣議決定 4月 改正「民法」施行（契約に関わる総則・債権を中心に改正） 4月 「地方消費者行政強化作戦2020」策定 5月 国民生活センター、「新型コロナウイルス給付金関連消費者ホットライン」を開設（7月から「給付金・豪雨関連消費者ホットライン」） 6月 「公益通報者保護法」改正 6月 消費者安全調査委員会、「水上設置遊具による溺水事故」の報告書公表（2020年にはほかに1件の事案について報告書公表） 7月 消費者庁新未来創造戦略本部開設 8月 マスク及びアルコール消毒製品の転売規制を解除 10月 国民生活センター創立50周年	1月 新型コロナウイルス感染症、国内初の感染確認 3月 小・中学校、高等学校及び特別支援学校等における一斉臨時休校 3月 第58回全国消費者大会中止 4月 「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」として、「特別定額給付金」制度、「持続化給付金」制度の創設が盛り込まれる 4月 新型コロナウイルス感染症対策本部が緊急事態を宣言 ・この頃、新型コロナウイルス感染症に関する相談が増加 5月 新型コロナウイルス感染症対策専門家会議が、「3つの密」を避ける等の「新しい生活様式」を提言 5月 緊急事態宣言を解除 7月 旅行需要の喚起策「Go To トラベル事業」開始 7月 令和2年7月豪雨
2021年 (令和3年)	2月 消費者庁、新型コロナワクチン詐欺等の便乗悪質商法に注意喚起 3月 国民生活センター、「新型コロナワクチン詐欺 消費者ホットライン」開設 3月 4省庁連携による「成年年齢引下げに伴う消費者教育全力」キャンペーン 4月 「取引デジタルプラットフォーム消費者保護法」成立 6月 「特定商取引法」改正（詐欺的な定期購入商法への対策強化、送り付け商法対策、契約書面等の電子化） 6月 「預託法」改正（「預託等取引に関する法律」と改称、販売預託の原則禁止） 6月 消費者安全調査委員会、「自動ドアによる事故」の報告書公表 7月 改正「特定商取引法」一部施行（送り付け商法対策）	1月 新型コロナウイルス感染症対策本部が緊急事態を宣言 2月 福島県沖地震（2021年） 3月 東日本大震災10年 3月 第59回全国消費者大会開催（オンライン） 3月 緊急事態宣言解除 4月 新型コロナウイルス感染症対策本部が緊急事態を宣言 7月 熱海市伊豆山土石流災害 7月 東京オリンピック開幕 8月 東京パラリンピック開幕 9月 緊急事態宣言解除 11月 新型コロナウイルスオミクロン株国内初確認 11月 COP26で石炭火力半減を採択
2022年 (令和4年)	3月 消費者安全調査委員会、「ネオジム磁石製のマグネットセットによる子どもの誤飲事故」の報告書公表 4月 改正「民法」施行（成年年齢が18歳に引下げ） 4月 消費者庁、「便乗値上げ情報 消費者受付ウェブ窓口」開設 5月 「取引デジタルプラットフォーム消費者保護法」施行 5月 「消費者契約法」改正（契約の取消権を追加等）	2月 ロシアによるウクライナ侵略 ・この頃、世界的な物価高騰 3月 第60回全国消費者大会開催（オンライン） 3月 福島県沖地震（2022年） 3月 初の電力需給ひっ迫警報発令 4月 知床遊覧船沈没事故

年／項目	消費者行政等	消費者問題等
2022年 (令和4年)	<p>5月 「消費者裁判手続特例法」改正（感謝料を対象範囲へ追加、支援法人制度の導入等）</p> <p>6月 改正「公益通報者保護法」施行</p> <p>6月 改正「特定商取引法」一部施行（詐欺的な定期購入商法対策）</p> <p>6月 改正「預託法」一部施行（販売預託の原則禁止）</p> <p>8月 「『旧統一教会』問題関係省庁連絡会議」設置</p> <p>12月 「消費者契約法」改正（靈感等による知見を用いた告知による不当勧誘行為に対する取消権の範囲の拡大等）</p> <p>12月 「国民生活センター法」改正（重要消費者紛争についての裁判外紛争解決手続（ADR）の迅速化等）</p> <p>12月 「不当寄附勧誘防止法」成立</p>	
2023年 (令和5年)	<p>1月 改正「消費者契約法」施行（靈感等による知見を用いた告知による不当勧誘行為に対する取消権の範囲の拡大等）</p> <p>1月 改正「国民生活センター法」施行（重要消費者紛争についての裁判外紛争解決手続（ADR）の迅速化等）</p> <p>1月 「不当寄附勧誘防止法」施行（一部規定を除く）</p> <p>3月 「一般消費者が事業者の表示であることを判別することが困難である表示」を景品表示法上の新たな不当表示として告示で指定（ステルスマーケティング告示）</p> <p>4月 消費者安全調査委員会、「トランポリンパーク等での事故」の報告書公表</p> <p>4月 「不当寄附勧誘防止法」一部施行（行政措置等に関する規定）</p> <p>5月 「景品表示法」改正（確約手続等の導入）</p> <p>5月 「生活衛生等関係行政の機能強化のための関係法律の整備に関する法律」成立</p> <p>6月 「不当寄附勧誘防止法」一部施行（禁止行為及び取消権の一部の規定）</p> <p>6月 改正「消費者契約法」一部施行（契約の取消権の拡充、不当条項の追加、事業者の努力義務の新設等）</p> <p>6月 改正「特定商取引法」施行（契約書面等の電子化）</p> <p>6月 磁石製娯楽用品（マグネットセット）と吸水性合成樹脂製玩具（水で膨らむボール）を基準不適合製品の販売が規制される特定製品に指定</p> <p>6月 製品安全誓約（日本国）開始</p> <p>10月 「ステルスマーケティング告示」施行（ステルスマーケティング規制開始）</p> <p>10月 改正「消費者契約法」一部施行（適格消費者団体の事務関係規定）</p> <p>10月 改正「消費者裁判手続特例法」施行</p>	<p>3月 第61回全国消費者大会開催（オンライン）</p> <p>5月 WHO、新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言解除</p> <p>5月 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症に変更</p> <p>7月 九州地方北部での豪雨</p> <p>7月 ビッグモーター社による自動車保険金の不正請求問題が発覚</p> <p>8月 福島第一原発のALPS処理水海洋放水開始</p> <p>10月 文科省、「旧統一教会」に対する解散命令を東京地方裁判所へ請求</p>
2024年 (令和6年)	<p>1月 国民生活センター、「能登半島地震関連 消費者ホットライン」開設</p> <p>4月 厚生労働省から食品衛生基準行政が移管</p>	<p>1月 令和6年能登半島地震 ・この頃、災害便乗商法が発生</p> <p>3月 第62回全国消費者大会開催（オンライン）</p>

年／項目	消費者行政等	消費者問題等
2024年 (令和6年)	<p>4月 「COCOLIS（消費者団体訴訟制度）ポータルサイト」開設</p> <p>9月 消費者庁及び消費者委員会設置15年 「食品表示基準」及び「食品衛生法施行規則」の改正により、機能性表示食品等に係る健康被害の情報提供を義務化したほか、天然抽出物等を原材料とする錠剤、カプセル剤等食品の適正製造規範(GMP)に基づく製造・品質管理等を要件化</p> <p>10月 改正「景品表示法」施行(確約手続の導入等)</p> <p>10月 初の「OECD消費者政策閣僚会合」開催</p>	<p>3月 小林製薬の紅麹を使用した製品に由来する健康被害発生</p> <p>8月 南海トラフ地震臨時情報の発表等を受けた需給ひっ迫により、米の品薄状況が発生</p> <p>9月 能登で記録的大雨</p>